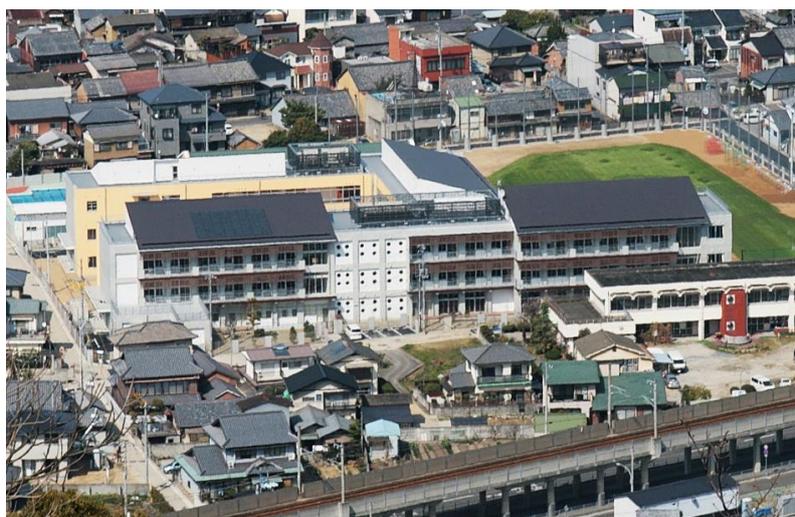


坂出市学校施設長寿命化計画



坂出市立坂出小学校



2021年3月
坂出市教育委員会

目次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1-1. 背景.....	1
1-2. 目的.....	1
1-3. 計画期間	1
1-4. 計画の位置づけ	2
1-5. 対象施設	2
2. 学校施設の目指すべき姿.....	3
2-1. 上位計画の施設等.....	3
2-2. 学校施設の目指すべき姿	3
3. 学校施設の実態	4
3-1. 学校施設の運営状況	4
3-2. 学校施設の老朽化状況の実態	13
3-3. 今後の維持・更新コスト.....	20
4. 学校施設の整備に係る基本的な方針等	22
4-1. 本市における学校施設整備の課題.....	22
4-2. 長寿命化計画の基本方針等.....	23
4-3. 改修等の基本的な方針	24
5. 施設整備の水準等.....	26
5-1. 改修等の整備水準.....	26
5-2. 維持管理の項目・手法等	27
6. 長寿命化の実施計画.....	28
6-1. 計画策定の基本条件及び実施計画.....	28
6-2. 長寿命化のコストの見通し・課題.....	30
7. 長寿命化計画の継続的運用方針.....	32
7-1. 情報基盤の整備と活用	32
7-2. 推進体制等の整備.....	32
7-3. フォローアップ	32
参考資料	33

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1-1. 背景

本市では、これまで市民ニーズや社会的需要に対して、市民サービスの向上を図るために、様々な公共施設を整備してきましたが、今後、老朽化に対応するための維持管理費に加え、将来の建替や改修等の更新費用が発生することが見込まれ、市の財政運営において大きな負担となることが予想されます。

さらに、厳しい財政状況が続く中で、今後人口減少等により、公共施設等の利用需要が低下していくことも考えられます。

このような公共施設を取り巻く状況は、全国的な課題であることから、国は、平成 25 年 11 月「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）が策定されました。

また、総務省が平成 26 年 4 月に地方公共団体に対し、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにする計画として、「公共施設等総合管理計画（インフラ長寿命化計画（行動計画）」）を策定するよう要請しました。さらに、公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める、個別施設毎の長寿命化計画を策定することを求めています。

このような状況を踏まえ、本市では、公共施設等のあり方の見直しを行い、将来にわたり安全・安心を確保しながら有効に活用していく必要があることから、公共施設等の状況を把握し、長期的な視点をもって維持・更新・統廃合・長寿命化等を行うことにより、財政負担を軽減・平準化し、将来にわたり持続可能な公共サービスの提供を実現するために、平成 28 年 12 月、坂出市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。

このような背景の中、教育委員会では、多くの学校施設が老朽化し、保守・改修等が急務となっている現状を踏まえ、総合管理計画に基づき、劣化状況の把握や健全性の評価を行い、良好な教育環境が維持できるよう改修等の実施時期や規模等を定めた中長期的な整備計画となる「坂出市学校施設長寿命化計画」を策定することとします。

1-2. 目的

本計画は、学校施設の安全で安心な環境の確保を最優先に「事後保全」型の管理から、計画的に施設の点検・修繕等を行い、不具合を未然に防止する「予防保全」型へ転換し、学校施設の健全な状態を維持しながら長く利用する長寿命化と、ライフサイクルコストの削減、財政負担の軽減及び平準化を図り、学校施設に求められる機能や性能の確保を目的に策定します。

1-3. 計画期間

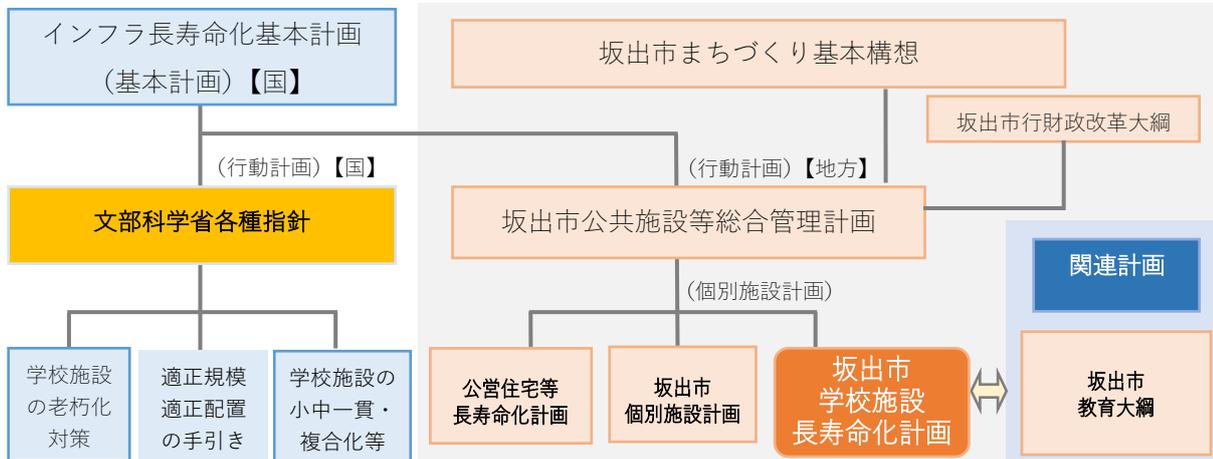
本計画の計画期間は、令和 2（2020）年度を基準年とし、令和 3（2021）年度から令和 42（2060）年度までの 40 年間とします。ただし実際に改修を行った場合や、法改正等の社会的要求水準の変化を受けて、状況が変化する場合があるため、5 年毎に計画の見直しを行うこととします。

計画期間：令和 3（2021）年度～令和 42（2060）年度

1-4. 計画の位置づけ

坂出市公共施設等総合管理計画等を上位計画として、学校施設の具体的な管理計画を定めます。

[計画の位置付け]



1-5. 対象施設

対象とする施設は、小学校 11 校、中学校 5 校、幼稚園 6 園*の全 22 施設とします。

[対象とする学校等一覧]

小学校坂出市行財政改革大綱	中学校	幼稚園
坂出小学校	坂出中学校	坂出中央幼稚園
東部小学校	東部中学校	林田幼稚園
金山小学校	白峰中学校	加茂幼稚園
西庄小学校	瀬居中学校	府中こども園
林田小学校	岩黒中学校	(R 元年度まで幼稚園)
加茂小学校		川津幼稚園
府中小学校		松山幼稚園
川津小学校		(R3 年度より認定こども園)
松山小学校		
瀬居小学校		
岩黒小学校		

*幼稚園については令和元年度調査時の施設数です。

2. 学校施設の目指すべき姿

2-1. 上位計画の施設等

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」（平成 25 年 11 月策定）及び「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」（平成 27 年 3 月策定）で規定される個別施設計画です。本市の「坂出市公共施設等総合管理計画」等の上位計画で規定される施設のうち、学校施設の管理について、各計画と整合性を図りながら策定します。

2-2. 学校施設の目指すべき姿

「坂出市公共施設等総合管理計画」の内容を踏まえ、「学校施設整備基本構想の在り方について」（文部科学省の学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）が示す「安全性」「快適性」「学習活動への適応性」「環境への適応性」「地域の拠点化」の 5 つの観点から、学校施設の目指すべき姿を設定します。

1. 安全性

学校施設は多くの児童生徒が一日の大半を過ごす学習や生活の場であるとともに、地域の交流の場であり、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担うことから、学校施設は第一に安全・安心が求められます。老朽化した施設を予防保全により計画的に整備することで、安全・安心を確保します。

2. 快適性

教育環境に求められる機能は、時代により多種多様な変化が求められます。また、災害時には地域住民の避難場所になるため、エアコン整備やトイレの洋式化、バリアフリー化等に加え、校務の ICT 化の推進による教職員の事務負担軽減等、多様なニーズに対応できる学校施設を目指します。

3. 学習活動への適応性

グローバル化の進展等により、社会全体が急速に変化する中で、情報化社会に対応したデジタル教材や情報教育の体系的な推進、教科指導における情報活用能力の育成に係る環境を計画的に整備し、児童生徒の学習能力の向上を図ります。

4. 環境への適応性

学校施設は身近な公共施設であり、その施設規模も大きいことから、地球温暖化防止や循環型社会への移行に対して取り組む必要があります。施設の更新時や改修時には省エネルギー化や省資源化を推進するとともに、各施設の条件や費用対効果を勘案しながら新エネルギーの導入を検討し、環境負荷の低減に配慮した学校施設を目指します。

5. 地域の拠点化

現在、すべての小中学校において指定されたコミュニティ・スクールを基礎とし、学校と地域住民や保護者が協働して、よりよい教育の実現を目指しています。

学校施設は地域の拠点として重要な場となるため、児童生徒のみならず、地域住民に開かれた施設となるよう、必要な整備を行っていきます。

3. 学校施設の実態

3-1. 学校施設の運営状況

① 対象施設一覧

本計画における対象施設は小学校 11 校(総延床面積 40,201 m²)、中学校 5 校(総延床面積 24,455 m²)、幼稚園 6 園※(総延床面積 4,438 m²)です。

※幼稚園については令和元年度調査時の施設数及び名称です。

[対象施設一覧]

施設名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積(m ²)	西暦	和暦	築年数	備考
			建物用途							
坂出小学校	屋内運動場	006-1	体育館	RC	2	818	1967	S42	53	
	WC	006-2	体育館	S	1	29	1967	S42	53	独立
	校舎・管理棟	009	校舎	RC	3	3,559	2012	H24	8	
	給食場	009	校舎	RC	3	150	2012	H24	8	
	校舎棟	010	校舎	RC	3	1,544	2012	H24	8	
	校舎棟	011	校舎	RC	3	1,707	2012	H24	8	
	校舎棟	012	校舎	RC	2	367	2012	H24	8	
	倉庫	013	校舎	RC	1	60	2012	H24	8	独立
	機械室・倉庫	014	校舎	RC	1	32	2012	H24	8	
	WC・シャワー・更衣室	015	校舎	RC	1	76	2012	H24	8	独立
東部小学校	給食場	001	校舎	RC	1	122	1960	S35	60	
	管理及び教室棟	002-1、2	校舎	RC	3	1,607	1957	S32	63	
	教室棟	008-1、2、3	校舎	RC	4	2,578	1979	S54	41	
	機械室	010	校舎	S	1	14	1967	S42	53	
	倉庫	011	校舎	S	1	19	1978	S53	42	独立
	屋内運動場	012	体育館	RC	1	923	1991	H3	29	
	WC	013	校舎	RC	1	44	2012	H24	8	独立
金山小学校	教室棟	002-1	校舎	RC	1	261	1968	S43	52	
	教室等の通路	002-2	校舎	S	2	329	1973	S48	47	
	教室棟	002-3	校舎	RC	2	534	1982	S57	38	
	管理及び教室棟	003-1	校舎	RC	3	894	1979	S54	41	
	給食場	003-2	校舎	RC	1	114	1979	S54	41	
	倉庫	007	校舎	S	1	19	1983	S58	37	
	屋内運動場	008	体育館	RC	1	639	1986	S61	34	
	教室棟	009	校舎	RC	2	647	1987	S62	33	
	WC	010	校舎	RC	1	33	1988	S63	32	
	機械室	011	校舎	RC	1	24	1988	S63	32	
	西庄小学校	給食場	002-1	校舎	RC	1	100	1980	S55	40
管理棟及び教室棟		002-1、2	校舎	RC	3	1,753	1980	S55	40	
機械室		004	校舎	S	1	5	1978	S53	42	
屋内運動場		005	体育館	RC	1	578	1978	S53	42	
WC		006	校舎	RC	1	15	1978	S53	42	独立
倉庫		007	校舎	W	1	13	1978	S53	42	独立

施設名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積 (㎡)	西暦	和暦	築年数	備考	
			建物用途								
林田小学校	教室棟	001-1、2、3	校舎	RC	3	1,479	1965	S40	55		
	管理棟	002	校舎	RC	1	287	1966	S41	54		
	教室棟	003-1	校舎	RC	3	887	1966	S41	54		
	昇降口	003-2	校舎	S	3	24	1966	S41	54		
	教室棟	003-3	校舎	RC	3	434	1980	S55	40		
	給食場	004	校舎	RC	1	152	1979	S54	41		
	屋内運動場	005-1	体育館	RC	1	540	1968	S43	52		
	WC・更衣室・ホール・倉庫	005-2	体育館	S	1	108	1997	H9	23	独立	
	倉庫	007	校舎	RC	1	19	1970	S45	50		
	機械室	008	校舎	RC	1	14	1970	S45	50		
加茂小学校	教室棟	005	校舎	RC	3	385	1978	S53	42		
	屋内運動場	006-1	体育館	RC	1	480	1973	S48	47		
	WC	006-2	体育館	RC	1	18	1973	S48	47		
	倉庫	006-3	体育館	S	1	55	2001	H13	19		
	機械室	007	校舎	S	1	13	1968	S43	52		
	倉庫	008	校舎	S	1	19	1983	S58	37	独立	
	給食場	009	校舎	RC	1	100	1980	S55	40		
	管理棟・教室棟	010	校舎	RC	3	1,981	1983	S58	37		
	府中小学校	管理棟及び教室棟	004-1、2	校舎	RC	2	1,245	1969	S44	51	
		教室棟	005-1、2	校舎	RC	3	1,324	1981	S56	39	
給食場		007	校舎	RC	1	125	1983	S58	37		
機械室		009	校舎	W	1	11	1970	S45	50		
屋内運動場		010	体育館	RC	1	560	1976	S51	44		
倉庫		011	校舎	S	1	65	2001	H13	19	独立	
川津小学校	教室棟	002-2	校舎	RC	2	360	1971	S46	49		
	機械室	008	校舎	W	1	9	1972	S47	48		
	管理棟及び教室棟	012-1、3	校舎	RC	3	1,879	1979	S54	41		
	給食場	012-2	校舎	RC	1	150	1981	S56	39		
	教室棟	013	校舎	RC	3	1,158	1985	S60	35		
	WC	014	校舎	RC	1	11	1985	S60	35	独立	
	屋内運動場	015	体育館	RC	1	656	1987	S62	33		
	倉庫	016	校舎	S	1	41	1988	S63	32	独立	
松山小学校	管理棟及び教室棟	001	校舎	RC	3	1,217	1981	S56	39		
	屋内運動場	007	体育館	RC	1	605	1977	S52	43		
	更衣室	008	校舎	S	1	34	1967	S42	53		
	機械室	009	校舎	S	1	25	1967	S42	53		
	給食場	010	校舎	RC	1	125	1985	S60	35		
	教室棟	011	校舎	RC	3	1,457	1985	S60	35		
	倉庫	012	校舎	S	1	53	1985	S60	35	独立	
	屋外便所	013	校舎	RC	1	38	2013	H25	7	独立	
瀬居小学校	倉庫	005	校舎	W	1	42	1958	S33	62	独立	
	管理棟及び教室棟	006-1	校舎	RC	3	1,019	1986	S61	34		
	給食場	006-2	校舎	RC	1	80	1986	S61	34		
	屋内運動場	007	体育館	RC	1	483	1992	H4	28		
岩黒小学校	管理棟及び校舎棟	005	校舎	RC	2	376	1984	S59	36		
	倉庫	006	校舎	S	1	13	1984	S59	36	独立	
	屋内運動場	007	体育館	S	1	415	1993	H5	27		
	倉庫	008	校舎	S	1	10	2016	H28	4	独立	
	倉庫	009	校舎	S	1	13	2016	H28	4	独立	

施設名	建物名	棟番号	用途区分	構造	階数	延床面積 (㎡)	西暦	和暦	築年数	備考
			建物用途							
坂出中学校	教室棟	001	校舎	RC	3	2,382	1974	S49	46	
	教室棟及び管理棟	002-1	校舎	RC	4	3,367	1975	S50	45	
	中校舎西	002-2	校舎	RC	3	403	1975	S50	45	
	中校舎東	002-3	校舎	RC	3	741	1975	S50	45	
	技術科教室棟	003	校舎	S	1	324	1975	S50	45	
	更衣室・機械室	004	校舎	RC	1	218	1967	S42	53	独立
	屋内運動場	005	体育館	RC	2	1,136	1977	S52	43	
	給食場	007	校舎	RC	1	197	1989	H元	31	
	柔剣道場	009	体育館	RC	1	350	1989	H元	31	独立
	更衣室	010	校舎	RC	1	60	1999	H11	21	
	部室	011	その他	RC	1	81	1999	H11	21	独立
	機械室	012	校舎	RC	1	24	1999	H11	21	
	倉庫	013	校舎	RC	1	33	1999	H11	21	独立
	倉庫	014	校舎	RC	1	14	1999	H11	21	
東部中学校	技術科教室	001	校舎	S	1	149	1977	S52	43	独立
	屋内運動場	006-1、2	体育館	S	2	754	1965	S40	55	
	教室棟及び管理棟	007	校舎	RC	3	2,268	1976	S51	44	
	教室棟	008-1	校舎	RC	3	1,163	1977	S52	43	
	教室棟	008-2	校舎	RC	3	628	1977	S52	43	
	柔剣道場	009	体育館	RC	1	350	1989	H元	31	独立
	部室	010	その他	S	1	53	1966	S41	54	独立
倉庫	011	校舎	S	1	17	1982	S57	38	独立	
白峰中学校	教室棟及び管理棟	001-1、2	校舎	RC	3	2,341	1964	S39	56	
	昇降口	001-2	校舎	S	1	23	1965	S40	55	
	昇降口	001-4	校舎	S	1	23	1964	S39	56	
	WC・機械室	001-5、002-4	校舎	RC	3	472	1965	S40	55	
	教室棟及び管理棟	002-1	校舎	RC	3	2,350	1966	S41	54	
	昇降口	002-2	校舎	S	1	20	1966	S41	54	
	教室棟	002-3	校舎	RC	3	798	1982	S57	38	
	技術科教室	003	校舎	S	1	248	1966	S41	54	
	屋内運動場	004	体育館	RC	2	1,027	1969	S44	51	
	機械室	005	校舎	W	1	13	1971	S46	49	
	柔剣道場	006	体育館	RC	1	350	1989	H元	31	独立
リフト	007	校舎	S	3	16	1990	H2	30	独立	
瀬居中学校	屋内運動場	001	体育館	RC	1	556	1980	S55	40	
	管理棟及び教室棟	007-1、2	校舎	RC	3	1,194	1976	S51	44	
	技術科教室	008	校舎	S	1	63	1977	S52	42	独立
	倉庫	010	校舎	S	1	39	1999	H11	20	独立
岩黒中学校	校舎	008	校舎	RC	2	210	1984	S58	36	
坂出中央幼稚園	管理及び保育室棟	001	校舎	RC	2	901	1978	S53	42	
	遊戯室	004-1、2	校舎	S	1	202	1972	S47	48	
林田幼稚園	管理室及び保育室	001	校舎	RC	2	630	1981	S56	39	
	保育室	003-1、2	校舎	S	1	142	1973	S48	47	
	保育室	004	校舎	S	1	47	1977	S52	43	
加茂幼稚園	教室棟	001	校舎	S	1	123	1977	S52	43	
	管理棟及び教室棟	003	校舎	RC	1	353	1985	S60	35	
府中幼稚園	管理及び保育棟	001	校舎	RC	2	550	1980	S55	40	R2年度より
	遊戯室	002	校舎	RC	1	144	1983	S58	37	認定こども園
川津幼稚園	遊戯室	003	校舎	S	1	205	1976	S51	44	
	保育室棟	008	校舎	RC	1	98	1978	S53	42	
	管理室棟	009、010	校舎	RC	1	330	1988	S63	32	
	倉庫	011	校舎	S	1	19	1988	S63	32	独立
松山幼稚園	管理及び保育室棟	001	校舎	RC	2	550	1980	S55	40	R3年度より
	遊戯室	002	校舎	RC	1	144	1983	S58	37	認定こども園

[学校施設等位置図]



※幼稚園について令和元年度調査時の名称です。

令和2年度から府中幼稚園は府中こども園、令和3年度から松山幼稚園は松山こども園になります。

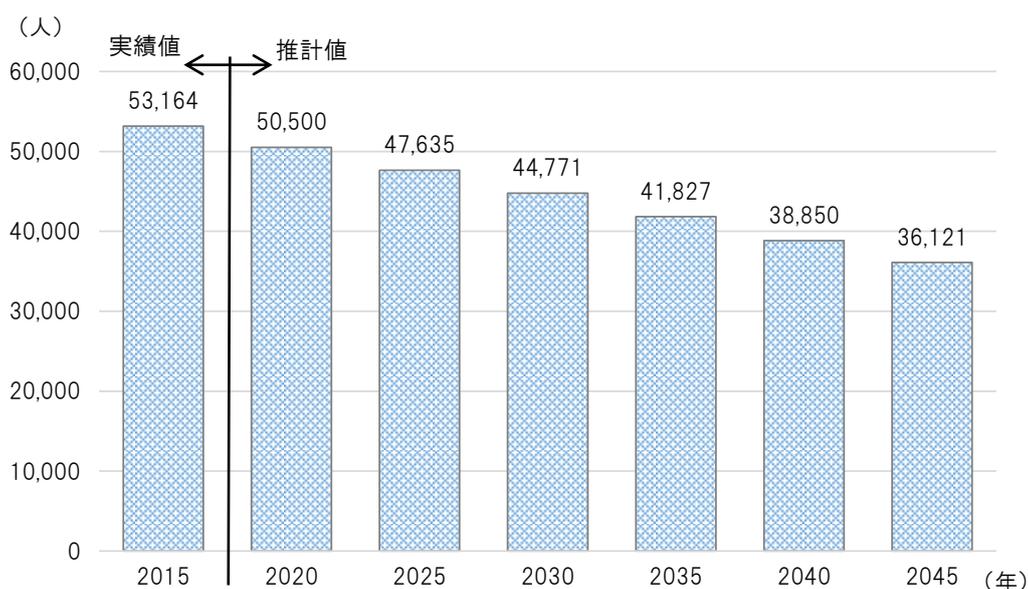
② 園児・児童・生徒数及び学級数の変化

a.本市の人口及び年少（0～14歳）人口の見通し

本市の人口は、2015年に53,164人となっていますが、現状の人口動態が続いた場合、2045年には36,121人となり、32.1%の人口が減少すると予測されています。

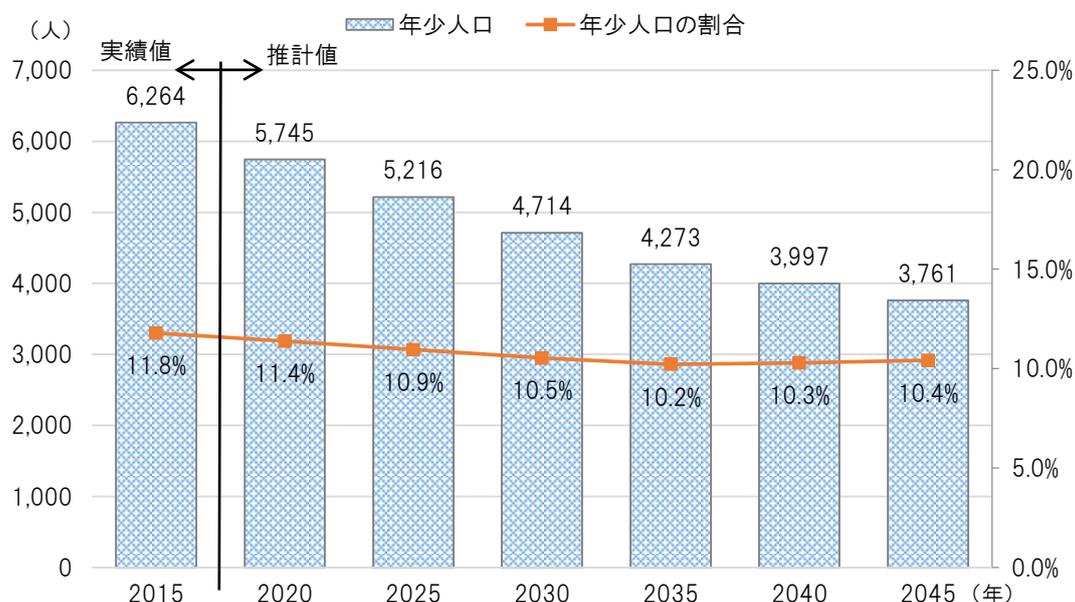
また、年少（0～14歳）人口については、2015年に6,264人（市全体の人口の11.8%）となっていますが、2045年には3,761人（同10.4%）となると予測されています。

【総人口の推移】



資料：国勢調査、国立社会保障人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』

【年少人口の推移】

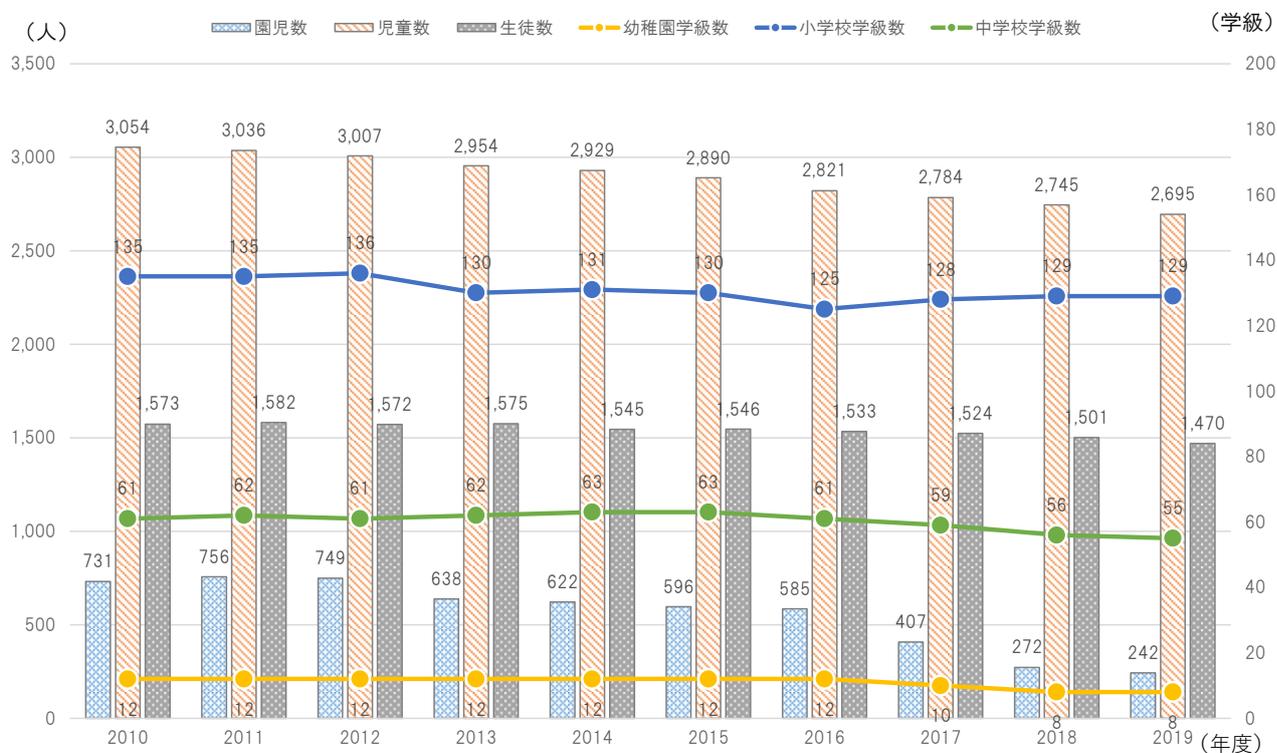


資料：国勢調査、国立社会保障人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』

b.園児・児童・生徒数の推移

本市の幼稚園児数・小学校児童数・中学校生徒数は、年度によって増減が見られるものの、近年は減少傾向にあります。

[園児・児童・生徒数の推移]

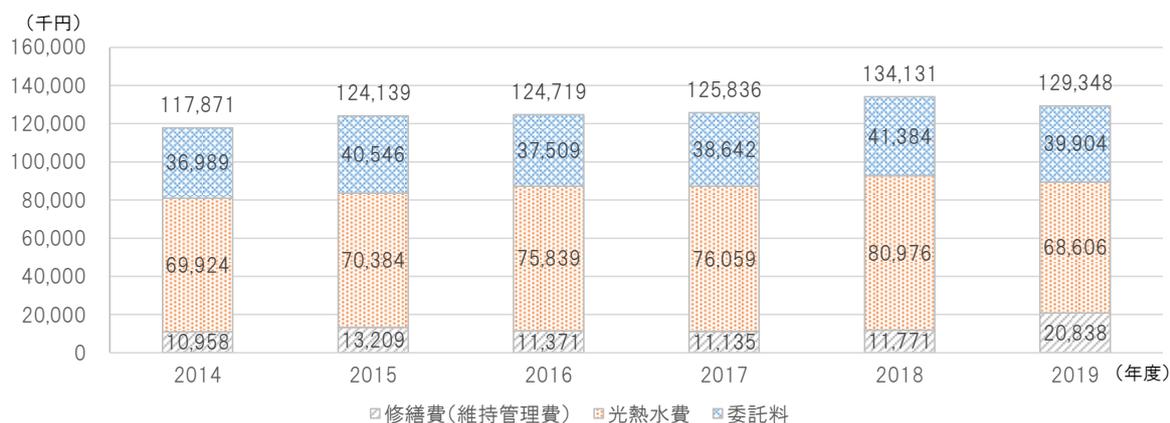


資料: 学校基本統計

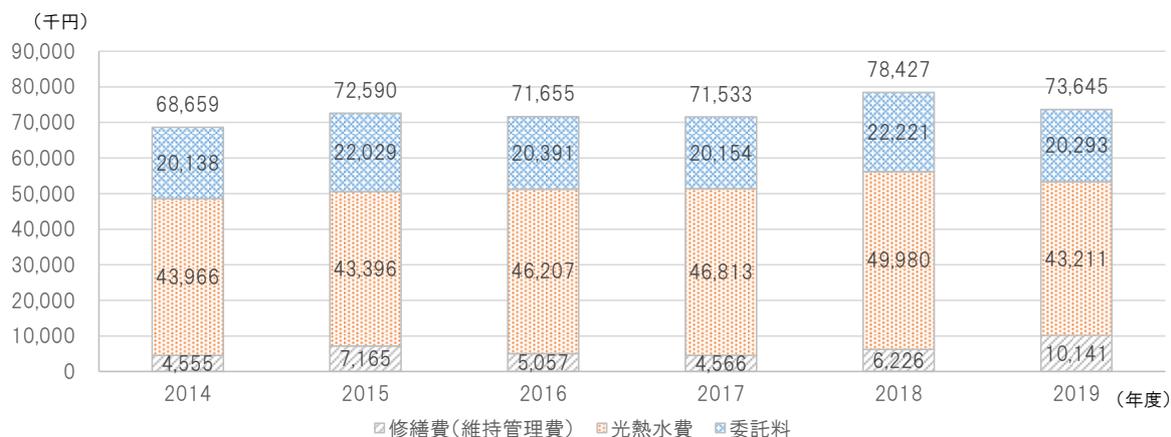
③ 施設関連経費の推移

経常的な経費として毎年度支出される施設関連経費は、修繕費（維持管理費）、光熱水費、委託費で構成されており、過去6年間の推移については下図に示すとおりです。空調設備の整備に伴う光熱費の増加により、今後、増加していくことが想定されます。

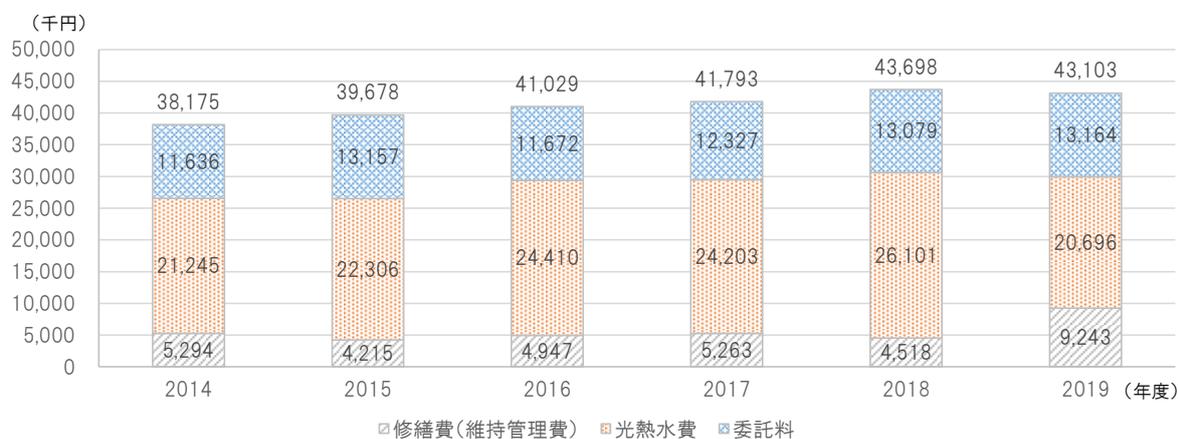
〔施設関連経費合計の推移（合計）〕



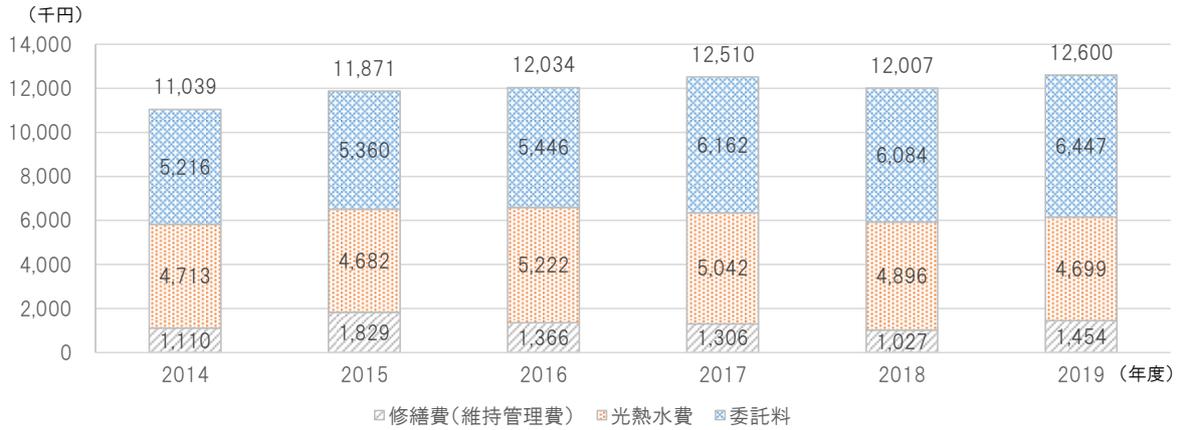
〔(参考) 小学校の施設関連経費合計の推移〕



〔(参考) 中学校の施設関連経費合計の推移〕



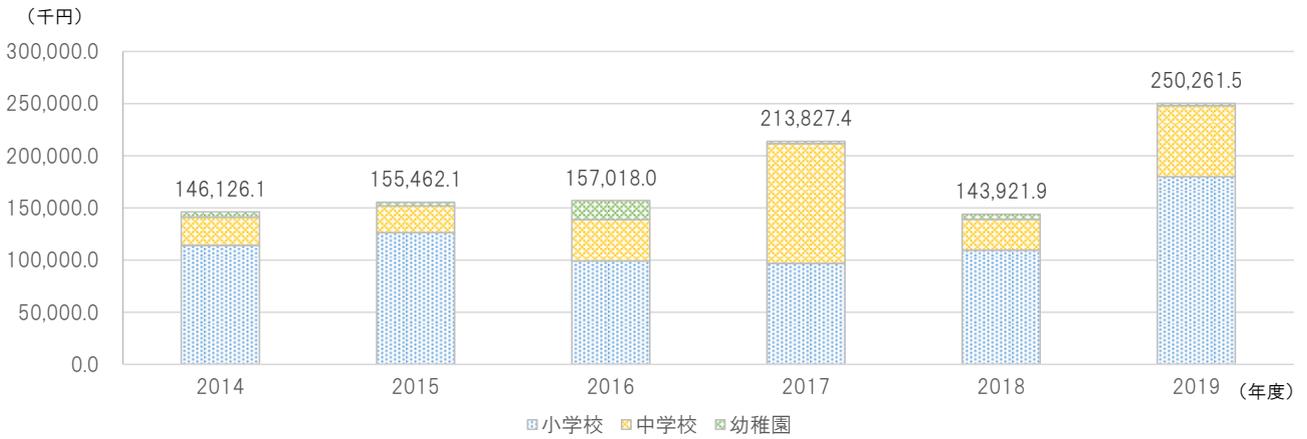
〔(参考) 幼稚園の施設関連経費合計の推移〕



④ 施設整備 (改修) 費

2014 年度から 2019 年度までの主な施設整備(改修)工事の事業費については下図に示すとおりです。

〔学校施設別改修費〕

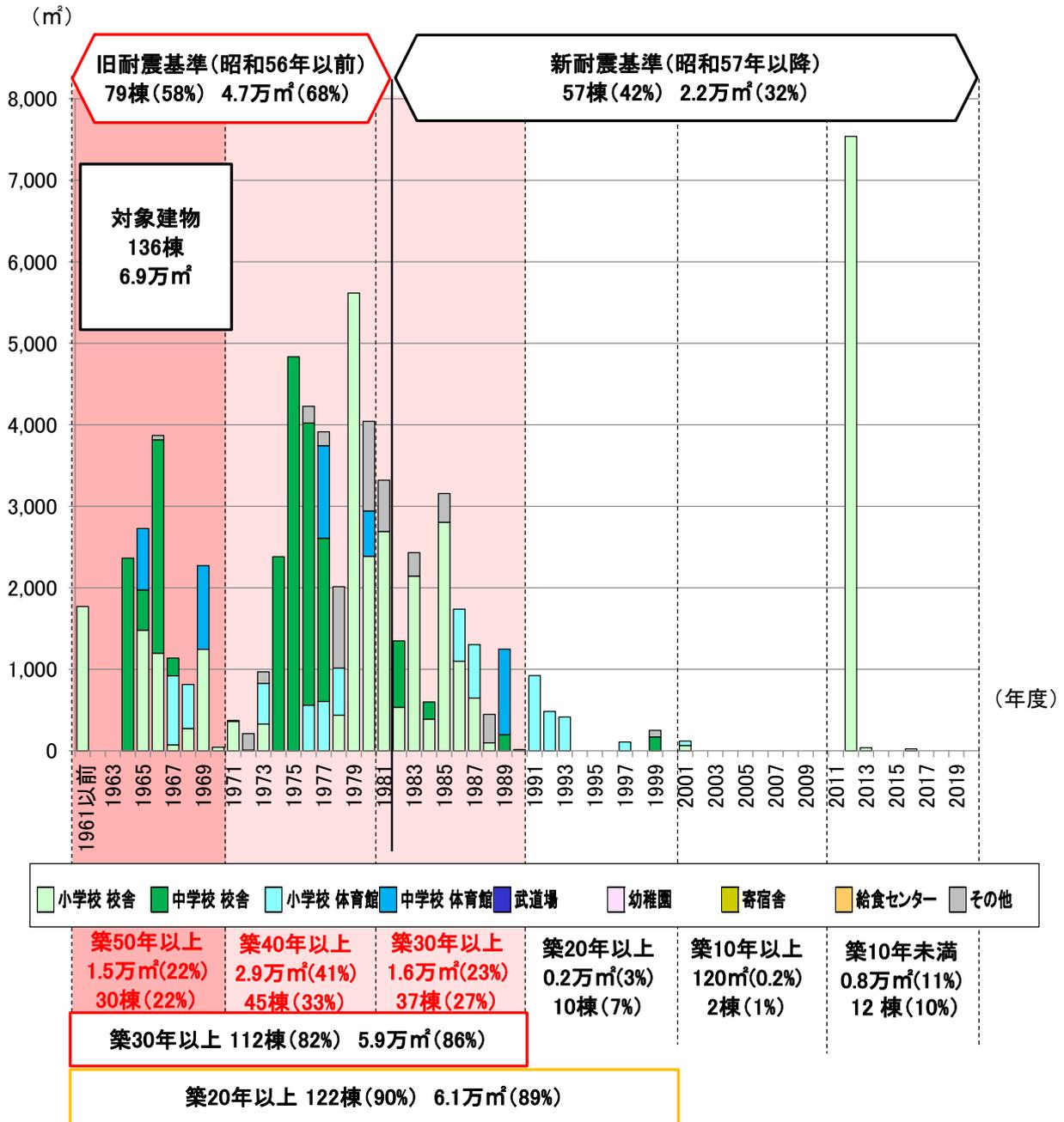


⑤ 学校施設の保有量

本計画の対象施設 22 施設には、136 棟の建物があり、そのうち、旧耐震基準である昭和 56 年以前に建設された建物は 79 棟で、新耐震基準である昭和 57(1982)年以降に建設された建物は 57 棟となっています。

また、平成2(1990)年以前に建設された築 30 年以上の建物が全体の床面積の約 9 割を占め、今後、老朽化対策として多額の施設整備費が必要となることが予測されます。

[学校施設の築年別整備状況]



※新耐震基準:昭和 56 年(1981 年 6 月 1 日)に施行された新たな耐震基準のこと。それ以前のものを旧耐震基準という。

3-2. 学校施設の老朽化状況の実態

① 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

a. 構造躯体の健全性の評価

対象施設では、旧耐震基準（昭和 56（1981）年以前）の建物は 79 棟約 4.7 万㎡ありますが、該当建物においては、8 割程度は、耐震補強もしくは耐震診断により耐震性が確認されている状況にあります。

[構造躯体の健全性の評価方法]

○新耐震基準	長寿命化対象		
○旧耐震基準	長寿命化対象	①耐震補強済み	・I _s 値 0.7 以上※1 ・RC 造の場合、コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² を超える※2
		②耐震診断で耐震性あり	

※1：I_s値（建物の耐震性能を表す指標）、I_s値 0.7 以上は、文部科学省 耐震改修の補助要件による

※2：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29）」文部科学省による計画策定段階の判定フローによる

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29.3）」（文部科学省）をもとに編集

b.構造躯体以外の劣化状況の評価

劣化状況調査票を用いて、構造躯体以外の劣化状況について施設区分毎に、屋根・屋上、外壁、内部仕上げは目視により、電気設備、機械設備は各部位の改修年からの経過年数、及びこれまでの改修履歴を基に部位ごとにA、B、C、Dの4段階評価を行っています。

さらに、そのランクに応じた評価点による合計値によって、点数化したものを整理しています。

[構造躯体以外の劣化状況の評価方法]

評価基準	<p>現地調査を実施し、屋根・屋上、外壁、内部仕上げは目視状況により、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価</p> <p>評価基準</p> <p>目視による評価【屋上・屋根、外壁、内部仕上げ】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良好 A</td> <td>概ね良好</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)</td> </tr> <tr> <td>劣化 D</td> <td>早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等</td> </tr> </tbody> </table> <p>経過年数による評価【電気設備、機械設備】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>良好 A</td> <td>20年未満</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>20~40年</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40年以上</td> </tr> <tr> <td>劣化 D</td> <td>経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合</td> </tr> </tbody> </table>	評価	基準	良好 A	概ね良好	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)	劣化 D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	評価	基準	良好 A	20年未満	B	20~40年	C	40年以上	劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合				
	評価	基準																							
良好 A	概ね良好																								
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)																								
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)																								
劣化 D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等																								
評価	基準																								
良好 A	20年未満																								
B	20~40年																								
C	40年以上																								
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合																								
健全度の算定	<p>各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標</p> <p>①部位の評価点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>②部位のコスト配分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>コスト配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 屋根・屋上</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2 外壁</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>3 内部仕上げ</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>4 電気設備</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>5 機械設備</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>③健全度</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> $\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$ </div> <p>※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。</p>		評価点	A	100	B	75	C	40	D	10	部位	コスト配分	1 屋根・屋上	5.1	2 外壁	17.2	3 内部仕上げ	22.4	4 電気設備	8.0	5 機械設備	7.3	計	60
	評価点																								
A	100																								
B	75																								
C	40																								
D	10																								
部位	コスト配分																								
1 屋根・屋上	5.1																								
2 外壁	17.2																								
3 内部仕上げ	22.4																								
4 電気設備	8.0																								
5 機械設備	7.3																								
計	60																								

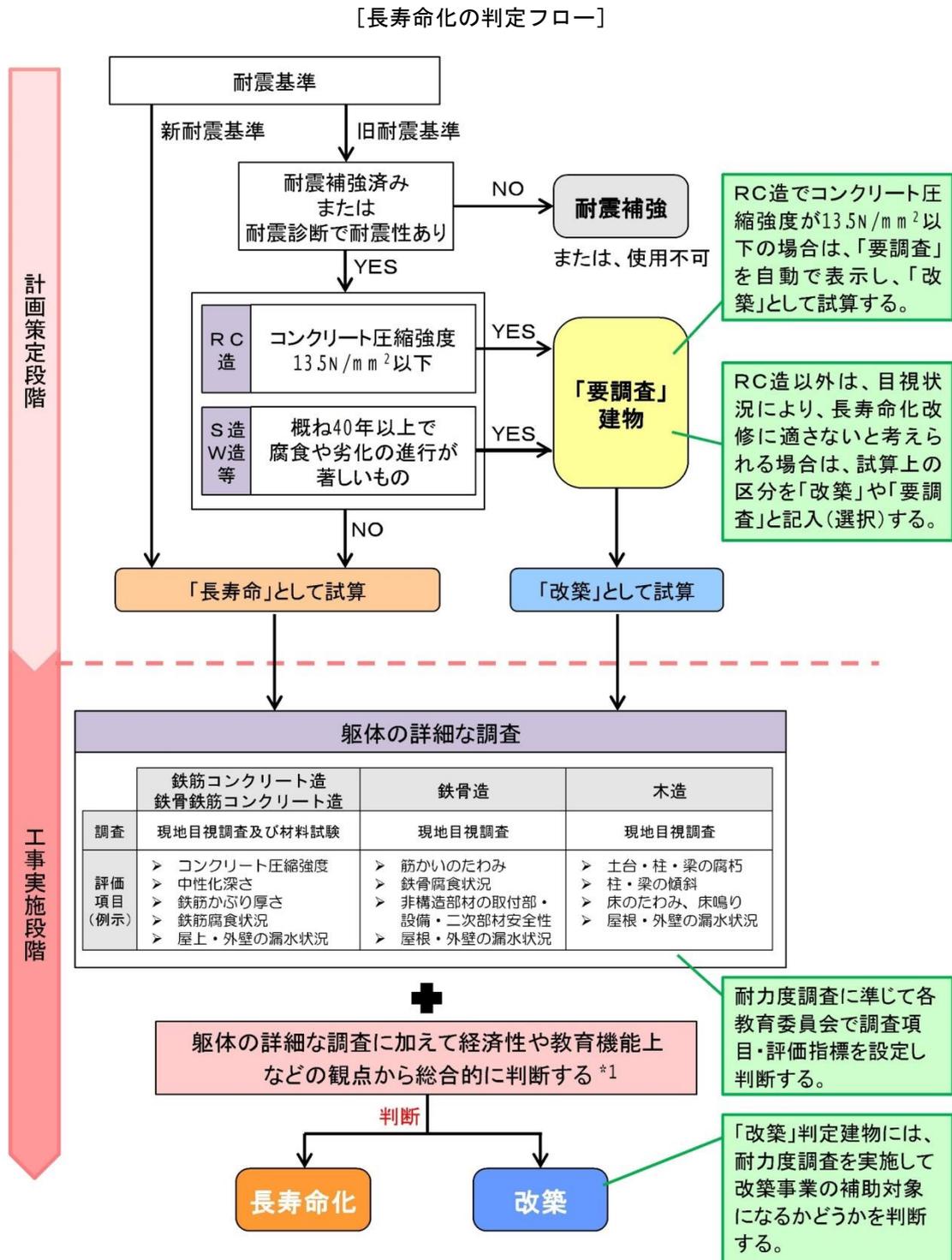
資料:「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(H29.3)」(文部科学省)

[構造躯体以外の劣化状況の評価基準等（事例）]

部位 評価	屋上・屋根	外壁関係
A 概ね良好	・汚れている程度 	・汚れている程度  
B 部分的に劣化	・部分的に塗装のはがれ、さびがある 	・部分的にひび割れがある ・軒裏、塗装剥がれ  
C 広範囲に劣化	・シート防水にふくれ、土砂堆積等がある 	・ひび割れ、爆裂・露筋がある ・ひび割れ、爆裂・露筋がある  
D 早急に対応する必要がある	・屋根材のはがれ(落下)、破損がある 	・幅広いひび割れ、爆裂・露筋、剥落がある  

c.施設の長寿命化の判定

対象施設の長寿命化は、構造躯体の健全性、構造躯体以外の劣化状況等を踏まえ、国が示す「長寿命化の判定フロー」に基づき、対象となる施設を選定しています。判定フロー及び構造躯体の健全性及び構造躯体以外の劣化状況評価の結果は次の通りです。



*1 例えば、時を重ねて活用され続けた木造建物等は、それ自体が文化財的価値を有することも多く、改築に際しては、こうした観点からの検討も別途行う必要がある。

[構造躯体の健全性及び構造躯体以外の劣化状況評価一覧]

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

基準 2020

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分				構造				建築年度		構造躯体の健全性				劣化状況評価				備考		
					学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	西暦	和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)	
													基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)								試算上の区分
1	160	坂出小学校	屋内運動場	006-1	小学校	体育館	RC	2	818	1967	S42	53	旧	済	済			長寿命	A	C	A	A	A	83	
2	160	坂出小学校	WC	006-2	小学校	体育館	S	1	29	1967	S42	53	旧	-	-			改築						0	独立
3	160	坂出小学校	校舎・管理棟	009	小学校	校舎	RC	3	3,559	2012	H24	8	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
4	160	坂出小学校	給食場	009	小学校	校舎	RC	3	150	2012	H24	8	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
5	160	坂出小学校	校舎棟	010	小学校	校舎	RC	3	1,544	2012	H24	8	新	-	-			長寿命	B	A	A	A	A	98	
6	160	坂出小学校	校舎棟	011	小学校	校舎	RC	3	1,707	2012	H24	8	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
7	160	坂出小学校	校舎棟	012	小学校	校舎	RC	2	367	2012	H24	8	新	-	-			長寿命	D	A	A	A	A	92	
8	160	坂出小学校	倉庫	013	小学校	校舎	RC	1	60	2012	H24	8	新	-	-			改築						0	独立
9	160	坂出小学校	機械室・倉庫	014	小学校	校舎	RC	1	32	2012	H24	8	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
10	160	坂出小学校	WC・シャワー・更衣室	015	小学校	校舎	RC	1	76	2012	H24	8	新	-	-			改築	A	B	A	A	A	93	天井・露出鉄筋あり
11	145	東部小学校	給食場	001	小学校	校舎	RC	1	122	1960	S35	60	旧	-	済	2006 2009	21.6	長寿命	A	A	D	D	D	43	
12	145	東部小学校	管理棟及び教室棟	002-1,2	小学校	校舎	RC	3	1,607	1957	S32	63	旧	済	済	2006 2009	21.6	長寿命	B	B	D	D	D	34	天井・躯体コンクリートの劣化・露出鉄筋あり
13	145	東部小学校	教室棟	008-1,2,3	小学校	校舎	RC	4	2,578	1979	S54	41	旧	済	済	2009	30.6	長寿命	C	A	D	C	C	46	
14	145	東部小学校	機械室	010	小学校	校舎	S	1	14	1967	S42	53	旧	-	-			長寿命	C	C	C	A	A	55	
15	145	東部小学校	倉庫	011	小学校	校舎	S	1	19	1978	S53	42	旧	-	-			改築						0	独立
16	145	東部小学校	屋内運動場	012	小学校	体育館	RC	1	923	1991	H3	29	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77	
17	145	東部小学校	WC	013	小学校	校舎	RC	1	44	2012	H24	8	新	-	-			改築						0	独立
18	147	金山小学校	教室棟	002-1	小学校	校舎	RC	1	261	1968	S43	52	旧	済	済			長寿命	C	B	C	C	C	50	
19	147	金山小学校	教室等の通路	002-2	小学校	校舎	S	2	329	1973	S48	47	旧	済	済			長寿命	C	B	C	C	C	50	
20	147	金山小学校	教室棟	002-3	小学校	校舎	RC	2	534	1982	S57	38	新	済	-			長寿命	C	B	C	C	C	50	
21	147	金山小学校	管理棟及び教室棟	003-1	小学校	校舎	RC	3	894	1979	S54	41	旧	済	済			長寿命	B	B	C	C	C	53	
22	147	金山小学校	給食場	003-2	小学校	校舎	RC	1	114	1979	S54	41	旧	-	-			長寿命	A	A	C	C	C	62	
23	147	金山小学校	倉庫	007	小学校	校舎	S	1	19	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	A	A	B	B	B	84	
24	147	金山小学校	屋内運動場	008	小学校	体育館	RC	1	639	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	C	C	B	B	B	62	
25	147	金山小学校	教室棟	009	小学校	校舎	RC	2	647	1987	S62	33	新	-	-			長寿命	C	A	B	C	C	70	
26	147	金山小学校	WC	010	小学校	校舎	RC	1	33	1988	S63	32	新	-	-			長寿命	B	C	B	B	B	65	
27	147	金山小学校	機械室	011	小学校	校舎	RC	1	24	1988	S63	32	新	-	-			長寿命	A	D	B	B	B	59	
28	157	西庄小学校	給食場	002-1	小学校	校舎	RC	1	100	1980	S55	40	旧	済	済			長寿命	B	B	C	C	C	53	
29	157	西庄小学校	管理棟及び教室棟	002-1,2	小学校	校舎	RC	3	1,753	1980	S55	40	旧	済	済			長寿命	A	A	C	C	C	62	
30	157	西庄小学校	機械室	004	小学校	校舎	S	1	5	1978	S53	42	旧	-	-			長寿命	C	C	D	D	D	21	
31	157	西庄小学校	屋内運動場	005	小学校	体育館	RC	1	578	1978	S53	42	旧	済	済			長寿命	B	D	C	C	C	34	
32	157	西庄小学校	WC	006	小学校	校舎	RC	1	15	1978	S53	42	旧	-	-			改築						0	独立
33	157	西庄小学校	倉庫	007	小学校	校舎	W	1	13	1978	S53	42	旧	-	-			改築						0	独立
34	148	林田小学校	教室棟	001-1,2,3	小学校	校舎	RC	3	1,479	1965	S40	55	旧	済	済			長寿命	B	A	C	C	C	60	
35	148	林田小学校	管理棟	002	小学校	校舎	RC	1	287	1966	S41	54	旧	済	済			長寿命	A	B	C	C	C	55	
36	148	林田小学校	教室棟	003-1	小学校	校舎	RC	3	887	1966	S41	54	旧	済	済			長寿命	B	B	C	C	C	53	
37	148	林田小学校	昇降口	003-2	小学校	校舎	S	3	24	1966	S41	54	旧	済	済			長寿命	B	B	C	C	C	53	天井:白華現象
38	148	林田小学校	教室棟	003-3	小学校	校舎	RC	3	434	1980	S55	40	旧	済	済			長寿命	B	B	C	C	C	53	天井:施工不良
39	148	林田小学校	給食場	004	小学校	校舎	RC	1	152	1979	S54	41	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43	
40	148	林田小学校	屋内運動場	005-1	小学校	体育館	RC	1	540	1968	S43	52	旧	済	済			長寿命	C	C	C	C	C	40	
41	148	林田小学校	WC・更衣室・ホール・倉庫	005-2	小学校	体育館	S	1	108	1997	H9	23	新	-	-			長寿命						0	独立
42	148	林田小学校	倉庫	007	小学校	校舎	RC	1	19	1970	S45	50	旧	-	-			長寿命	A	C	D	D	D	26	
43	148	林田小学校	機械室	008	小学校	校舎	RC	1	14	1970	S45	50	旧	-	-			長寿命	B	C	C	D	A	46	
44	149	加茂小学校	教室棟	005	小学校	校舎	RC	3	385	1978	S53	42	旧	済	済	2009	33.3	長寿命	A	A	C	C	C	62	
45	149	加茂小学校	屋内運動場	006-1	小学校	体育館	RC	1	480	1973	S48	47	旧	済	済			長寿命	C	B	C	C	C	50	
46	149	加茂小学校	WC	006-2	小学校	体育館	RC	1	16	1973	S48	47	旧	済	済			長寿命	C	B	C	C	C	50	
47	149	加茂小学校	倉庫	006-3	小学校	体育館	S	1	55	2001	H13	19	新	-	-			長寿命	C	B	C	C	C	50	
48	149	加茂小学校	機械室	007	小学校	校舎	S	1	13	1968	S43	52	旧	-	-			長寿命	A	B	C	D	D	48	
49	149	加茂小学校	倉庫	008	小学校	校舎	S	1	19	1983	S58	37	新	-	-			改築						0	独立
50	149	加茂小学校	給食場	009	小学校	校舎	RC	1	100	1980	S55	40	旧	-	-			長寿命	C	B	C	C	C	50	
51	149	加茂小学校	管理棟・教室棟	010	小学校	校舎	RC	3	1,981	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	C	A	C	C	C	57	
52	155	府中小学校	管理棟及び教室棟	004-1,2	小学校	校舎	RC	2	1,245	1969	S44	51	旧	済	済			長寿命	D	D	C	C	C	29	天井:露出鉄筋あり
53	155	府中小学校	教室棟	005-1,2	小学校	校舎	RC	3	1,324	1981	S56	39	旧	済	-			長寿命	A	A	B	B	B	84	
54	155	府中小学校	給食場	007	小学校	校舎	RC	1	125	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	C	B	B	B	B	72	
55	155	府中小学校	機械室	009	小学校	校舎	W	1	11	1970	S45	50	旧	-	-			改築	C	D	C	C	A	39	
56	155	府中小学校	屋内運動場	010	小学校	体育館	RC	1	560	1976	S51	44	旧	済	済	2001	32.9	長寿命	C	D	C	C	C	31	
57	155	府中小学校	倉庫	011	小学校	校舎	S	1	65	2001	H13	19	新	-	-			改築						0	独立
58	156	川津小学校	教室棟	002-2	小学校	校舎	RC	2	360	1971	S46	49	旧	済	-			長寿命	A	A	C	C	C	62	天井:露出鉄筋あり
59	156	川津小学校	機械室	008	小学校	校舎	W	1	9	1972	S47	48	旧	-	-			長寿命	D	D	D	D	A	21	
60	156	川津小学校	管理棟及び教室棟	012-1,3	小学校	校舎	RC	3	1,879	1979	S54	41	旧	済	済	2009</									

基準 2020

A: 概ね良好 C: 広範囲に劣化
B: 部分的に劣化 D: 早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分					建築年度					構造躯体の健全性					備考					
					学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積(m ²)	西暦	和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		劣化状況評価							
													基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分	屋根・屋上		外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
66	158	松山小学校	管理棟及び教室棟	001	小学校	校舎	RC	3	1,217	1981	S56	39	旧	済	済	2009	30.9	長寿命	A	A	B	B	B	84	
67	158	松山小学校	屋内運動場	007	小学校	体育館	RC	1	605	1977	S52	43	旧	済	済	2007	24.8	長寿命	D	C	C	C	C	37	
68	158	松山小学校	更衣室	008	小学校	校舎	S	1	34	1967	S42	53	旧	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
69	158	松山小学校	機械室	009	小学校	校舎	S	1	25	1967	S42	53	旧	-	-			長寿命	A	B	C	D	A	58	
70	158	松山小学校	給食場	010	小学校	校舎	RC	1	125	1985	S60	35	新	-	-			長寿命	B	C	B	B	B	65	
71	158	松山小学校	教室棟	011	小学校	校舎	RC	3	1,457	1985	S60	35	新	-	-			長寿命	B	A	B	B	B	82	
72	158	松山小学校	倉庫	012	小学校	校舎	S	1	53	1985	S60	35	新	-	-			改築						0	独立
73	158	松山小学校	屋外便所	013	小学校	校舎	RC	1	38	2013	H25	7	新	-	-			改築						0	独立
74	151	瀬居小学校	倉庫	005	小学校	校舎	W	1	42	1958	S33	62	旧	-	-			改築						0	独立
75	151	瀬居小学校	管理棟及び教室棟	006-1	小学校	校舎	RC	3	1,019	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	C	A	B	B	B	79	
76	151	瀬居小学校	給食場	006-2	小学校	校舎	RC	1	80	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	B	D	B	B	B	56	
77	151	瀬居小学校	屋内運動場	007	小学校	体育館	RC	1	483	1992	H4	28	新	-	-			長寿命	A	D	B	B	B	59	
78	154	岩黒小学校	管理棟及び校舎棟	005	小学校	校舎	RC	2	376	1984	S59	36	新	-	-			長寿命	D	B	B	B	B	70	
79	154	岩黒小学校	倉庫	006	小学校	校舎	S	1	13	1984	S59	36	新	-	-			改築						0	独立
80	154	岩黒小学校	屋内運動場	007	小学校	体育館	S	1	415	1993	H5	27	新	-	-			長寿命	A	C	C	B	B	54	
81	154	岩黒小学校	倉庫	008	小学校	校舎	S	1	10	2016	H28	4	新	-	-			改築						0	独立
82	154	岩黒小学校	倉庫	009	小学校	校舎	S	1	13	2016	H28	4	新	-	-			改築						0	独立
83	161	坂出中学校	教室棟	001	中学校	校舎	RC	3	2,382	1974	S49	46	旧	済	済	2000	22.7	長寿命	D	B	D	D	D	29	
84	161	坂出中学校	教室棟及び管理棟	002-1	中学校	校舎	RC	4	3,367	1975	S50	45	旧	済	済	2000	19	長寿命	D	B	D	D	D	29	天井:露出鉄筋あり
85	161	坂出中学校	中校舎西	002-2	中学校	校舎	RC	3	703	1975	S50	45	旧	済	済			長寿命	D	A	D	D	D	36	
86	161	坂出中学校	中校舎東	002-3	中学校	校舎	RC	3	741	1975	S50	45	旧	済	済			長寿命	D	A	D	D	D	36	
87	161	坂出中学校	技術科教室棟	003	中学校	校舎	S	1	324	1975	S50	45	旧	済	済			長寿命	B	B	A	A	A	91	
88	161	坂出中学校	更衣室・機械室	004	中学校	校舎	RC	1	218	1967	S42	53	旧	-	-			改築						0	独立
89	161	坂出中学校	屋内運動場	005	中学校	体育館	RC	2	1,136	1977	S52	43	旧	済	済			長寿命	A	D	C	C	C	37	
90	161	坂出中学校	給食場	007	中学校	校舎	RC	1	197	1989	H元	31	新	-	-			長寿命	D	D	B	B	B	51	
91	161	坂出中学校	柔剣道場	009	中学校	体育館	RC	1	350	1989	H元	31	新	-	-			改築						0	独立
92	161	坂出中学校	更衣室	010	中学校	校舎	RC	1	60	1999	H11	21	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77	
93	161	坂出中学校	部室	011	中学校	その他	RC	1	81	1999	H11	21	新	-	-			改築						0	独立
94	161	坂出中学校	機械室	012	中学校	校舎	RC	1	24	1999	H11	21	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77	
95	161	坂出中学校	倉庫	013	中学校	校舎	RC	1	33	1999	H11	21	新	-	-			改築						0	独立
96	161	坂出中学校	倉庫	014	中学校	校舎	RC	1	14	1999	H11	21	新	-	-			長寿命	A	C	B	B	B	67	
97	162	東部中学校	技術科教室	001	中学校	校舎	S	1	149	1977	S52	43	旧	-	-			改築						0	独立
98	162	東部中学校	屋内運動場	006-1,2	中学校	体育館	S	2	754	1965	S40	55	旧	済	-			長寿命	A	C	D	C	C	34	
99	162	東部中学校	教室棟及び管理棟	007	中学校	校舎	RC	3	2,268	1976	S51	44	旧	済	済	2007	25.4	長寿命	A	B	D	C	C	44	天井:白華現象
100	162	東部中学校	教室棟	008-1	中学校	校舎	RC	3	1,163	1977	S52	43	旧	済	済	2008	20.86	長寿命	A	C	D	C	C	34	天井:施工不良
101	162	東部中学校	教室棟	008-2	中学校	校舎	RC	3	628	1977	S52	43	旧	済	済	2008	25.93	長寿命	A	C	D	C	C	34	
102	162	東部中学校	柔剣道場	009	中学校	体育館	RC	1	350	1989	H元	31	新	-	-			改築						0	独立
103	162	東部中学校	部室	010	中学校	その他	S	1	53	1966	S41	54	旧	-	-			改築						0	独立
104	162	東部中学校	倉庫	011	中学校	校舎	S	1	17	1982	S57	38	新	-	-			改築						0	独立
105	163	白峰中学校	教室棟及び管理棟	001-1,3	中学校	校舎	RC	3	2,341	1964	S39	56	旧	済	済	2009	31.7	長寿命	B	A	D	D	D	41	
106	163	白峰中学校	昇降口	001-2	中学校	校舎	S	1	23	1965	S40	55	旧	済	済			長寿命	B	A	D	D	D	41	
107	163	白峰中学校	昇降口	001-4	中学校	校舎	S	1	23	1964	S39	56	旧	済	済			長寿命	B	A	D	D	D	41	
108	163	白峰中学校	WC・機械室	001-5 002-4	中学校	校舎	RC	3	472	1965	S40	55	旧	済	済			長寿命	B	B	D	D	D	34	
109	163	白峰中学校	教室棟及び管理棟	002-1	中学校	校舎	RC	3	2,350	1966	S41	54	旧	済	済	2009	20	長寿命	D	B	D	D	D	29	
110	163	白峰中学校	昇降口	002-2	中学校	校舎	S	1	20	1966	S41	54	旧	済	済			長寿命	D	B	D	D	D	29	
111	163	白峰中学校	教室棟	002-3	中学校	校舎	RC	3	798	1982	S57	38	新	-	-			長寿命	A	A	D	B	B	60	
112	163	白峰中学校	技術科教室	003	中学校	校舎	S	1	248	1966	S41	54	旧	済	済			長寿命	A	B	A	A	A	93	
113	163	白峰中学校	屋内運動場	004	中学校	体育館	RC	2	1,027	1969	S44	51	旧	済	済			長寿命	B	C	C	C	C	43	
114	163	白峰中学校	機械室	005	中学校	校舎	W	1	13	1971	S46	49	旧	-	-			長寿命	C	D	C	C	C	31	
115	163	白峰中学校	柔剣道場	006	中学校	体育館	RC	1	350	1989	H元	31	新	-	-			改築						0	独立
116	163	白峰中学校	リフト	007	中学校	校舎	S	3	16	1990	H2	30	新	-	-			改築						0	独立
117	165	瀬居中学校	屋内運動場	001	中学校	体育館	RC	1	556	1980	S55	40	旧	済	済	2007	20.6	長寿命	A	D	A	C	C	59	
118	165	瀬居中学校	管理棟及び教室棟	007-1,2	中学校	校舎	RC	3	1,194	1976	S51	44	旧	済	済	2008	25.08	長寿命	A	C	C	C	C	45	
119	165	瀬居中学校	技術科教室	008	中学校	校舎	S	1	63	1977	S52	42	旧	-	-			改築						0	独立
120	165	瀬居中学校	倉庫	010	中学校	校舎	S	1	39	1999	H11	20	新	-	-			改築						0	独立
121	168	岩黒中学校	校舎	8	中学校	校舎	RC	2	210	1984	S59	36	新	-	-			長寿命						0	
122	143	坂出中央幼稚園	管理及び保育室棟	001	幼稚園	校舎	RC	2	901	1978	S53	42	旧	済	-	2008	30.5	長寿命	B	A	C	C	C	60	
123	143	坂出中央幼稚園	遊戯室	004-1,2	幼稚園	校舎	S	1	202	1972	S47	48	旧	済	済			長寿命	A	B	A	A	A	93	
124	133	林田幼稚園	管理室及び保育室	001	幼稚園	校舎	RC	2	630	1981	S56	39	旧	済	済			長寿命	A	A	B	B	B	84	
125	133	林田幼稚園	保育室	003-1,2	幼稚園	校舎	S	1	142	1973	S48	47	旧	-	-			長寿命	A	B	C	C	C	55	

基準 2020

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考		
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)								試算上の区分
127	134	加茂幼稚園	教室棟	001	幼稚園	校舎	S	1	123	1977	S52	43	旧	-	-			長寿命	A	B	C	C	C	65	
128	134	加茂幼稚園	管理棟及び教室棟	003	幼稚園	校舎	RC	1	353	1985	S60	35	新	-	-			長寿命	A	A	C	B	A	74	
129	138	府中幼稚園	管理及び保育棟	001	幼稚園	校舎	RC	2	550	1980	S55	40	旧	済	済			長寿命	A	A	C	C	C	62	天井:梁にジャンカあり
130	138	府中幼稚園	遊戯室	002	幼稚園	校舎	RC	1	144	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77	
131	139	川津幼稚園	遊戯室	003	幼稚園	校舎	S	1	205	1976	S51	44	旧	済	済			長寿命	D	B	A	A	A	85	
132	139	川津幼稚園	保育室棟	008	幼稚園	校舎	RC	1	98	1978	S53	42	旧	-	-			長寿命	C	D	C	C	C	31	
133	139	川津幼稚園	管理室棟	009, 010	幼稚園	校舎	RC	1	330	1988	S63	32	新	-	-			長寿命	D	C	B	B	B	59	
134	139	川津幼稚園	倉庫	011	幼稚園	校舎	S	1	19	1988	S63	32	新	-	-			改築	C	C	B	B	B	62	独立
135	140	松山幼稚園	管理及び保育室棟	001	幼稚園	校舎	RC	2	550	1980	S55	40	旧	済	済	30.5		長寿命	A	A	C	C	C	62	
136	140	松山幼稚園	遊戯室	002	幼稚園	校舎	RC	1	144	1983	S58	37	新	-	-			長寿命	A	B	B	B	B	77	

● 枠内の色分け(築年数 50 年以上:濃赤、築年数 30 年~49 年:薄赤)

※ 耐震診断の結果、耐震性能が確認されている。

※幼稚園については令和元年度調査時の名称です。

令和 2 年度から府中幼稚園は府中こども園、令和 3 年度から松山幼稚園は松山こども園になります。

府中幼稚園は令和 2 年度に認定こども園への改修を行っており、今後の更新対象には反映していません。

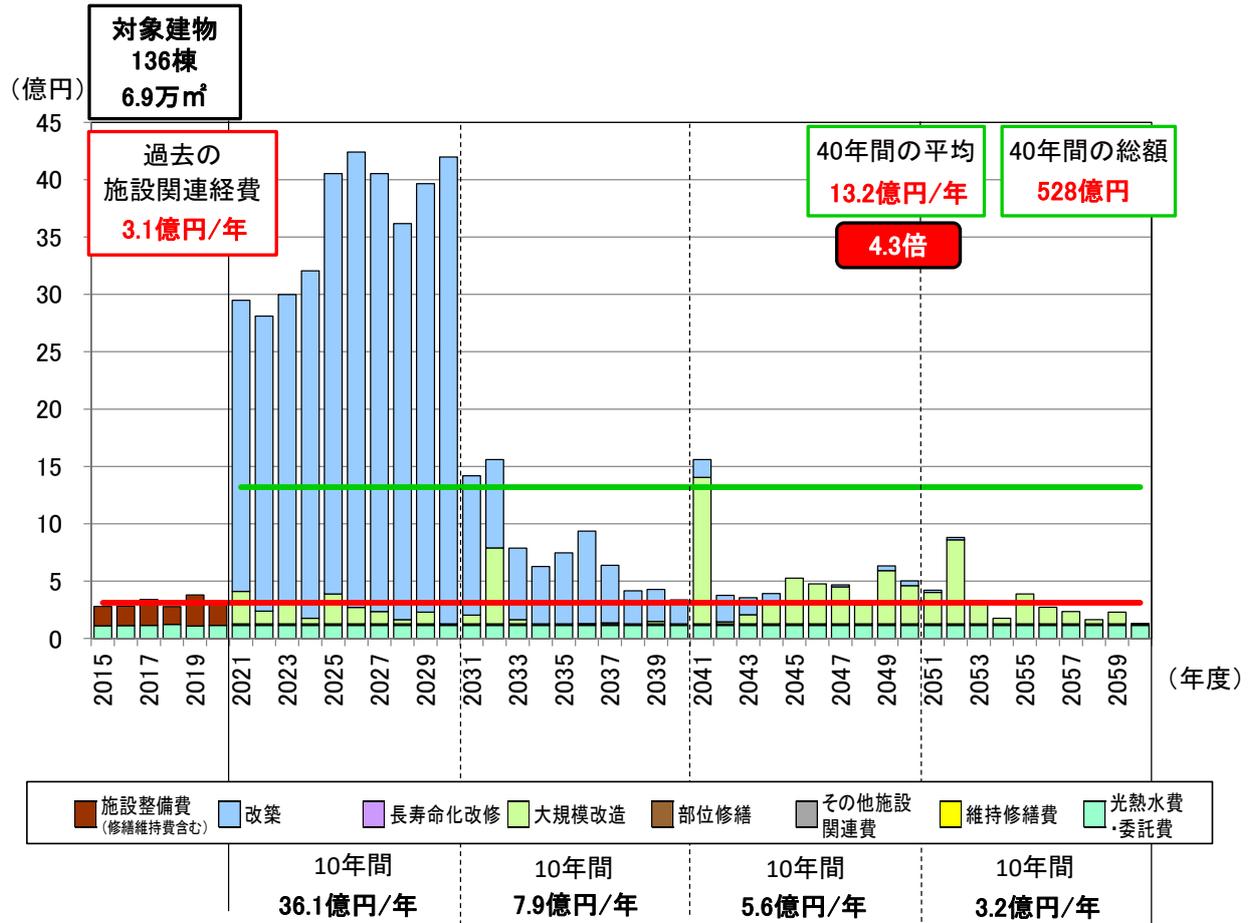
天井:梁にジャンカあり

3-3. 今後の維持・更新コスト

① 今後の維持・更新コスト（従来型）

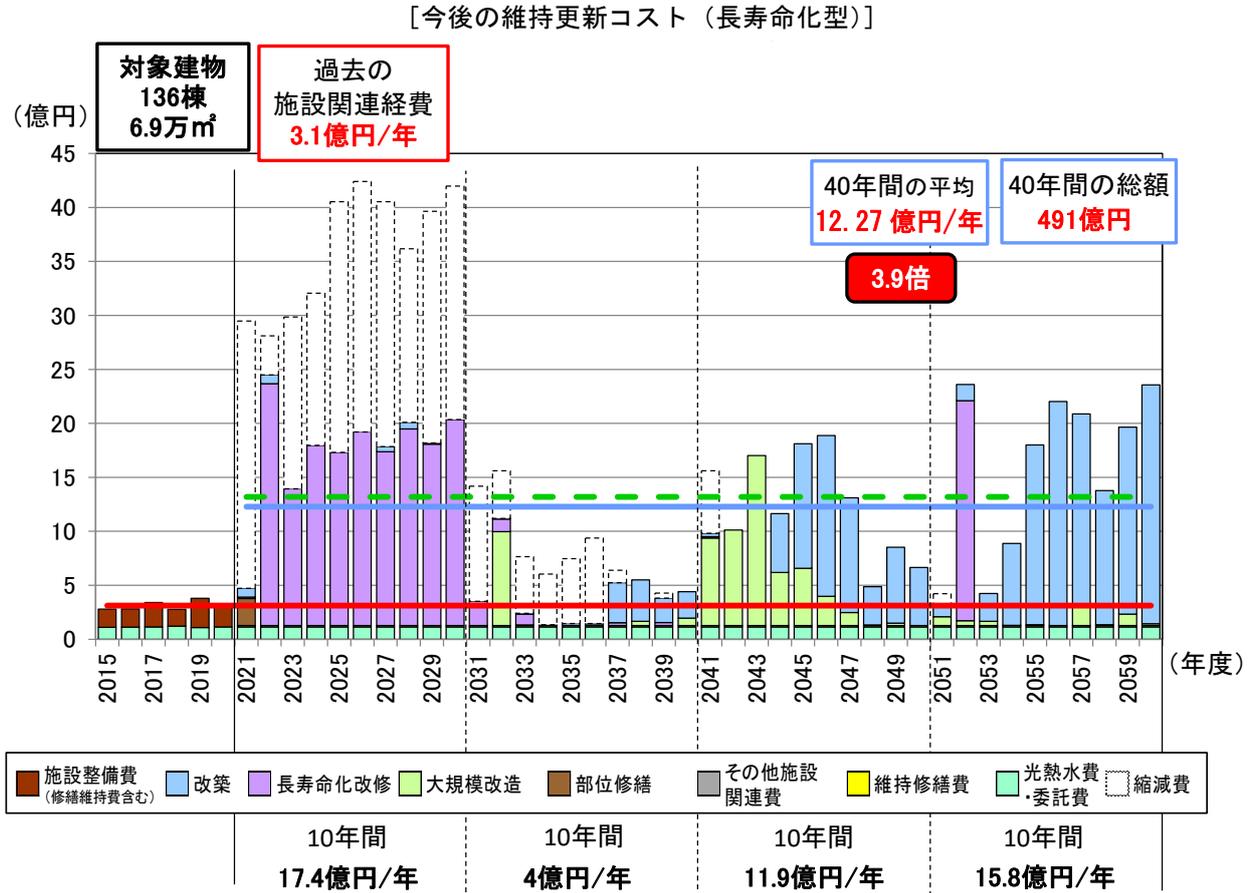
文部科学省想定 of 整備方法（施設寿命を 50 年と仮定し、築 20 年目に大規模修繕、築 50 年目に改築（建て替え））によりコスト試算を行った場合、今後 40 年間のコストは 528 億円（13.2 億円/年）となります。

[今後の維持更新コスト（従来型）]



② 今後の維持・更新コスト（長寿命型）

文部科学省が推奨する「長寿命化型」による整備方法（築 20 年、60 年目に大規模修繕、築 40 年目に施設寿命を 80 年に延ばすための長寿命化改良工事を実施し、築 80 年目に改築）によりコスト試算を行った場合、今後 40 年間の維持・更新コストは 491 億円（12.27 億円/年）となります。



4. 学校施設の整備に係る基本的な方針等

4-1. 本市における学校施設整備の課題

① 学校施設整備の主な課題

坂出市公共施設等総合管理計画や学校施設の劣化状況等の現状を踏まえ、学校施設の目指すべき姿の実現に向けて、以下の課題が挙げられます。

1. 多額の整備費用と改修費の集中

○長寿命化改修を迎える建築後 30 年以上の建物が全体の床面積の約 9 割を占めており、今後 40 年間に見込まれる費用は、従来の費用の 4.3 倍の 13.2 億円/年と大きな財政負担となります。
また当初 10 年間は、既に改修時期を迎えている施設が集中し、さらに 30 年から 40 年後は建築後 80 年を迎える改築対象の施設が集中するため、改修・改築時期の分散による予算の平準化が必要となります。

2. 劣化の進行

○今までは、著しい劣化や破損が発生した場合に改修を行う事後保全的な改修をしていましたが、この方法では、不具合のある部分だけの改修にとどまるため、今回の劣化状況調査に見られるとおり、劣化が進んでいる部位が多数見受けられ、施設全体の劣化への対応ができていません。

3. 多様なニーズへの対応

○多様な学習内容・学習形態に対応するため、ICT の活用等の質の高い教育環境を整備する必要があります。また、地域住民に開かれた学校施設であるとともに、災害時の避難場所としての役割を担う施設といった地域のニーズに応じた必要な整備をする必要があります。

4. 児童生徒数の減少に対応した施設の再編

○児童生徒数の減少により、余裕教室が生じることが予想されるため、その活用方法の検討を行う必要があります。

4-2. 長寿命化計画の基本方針等

① 学校施設の長寿命化計画の基本方針

学校施設整備の課題に対応するため、本市の学校施設全般に関する基本方針を次のとおりとします。

《坂出市公共施設等総合管理計画の基本的な考え方（基本方針）》

1. 施設の総量抑制と多機能化・複合化の推進
2. 建物の構造的・機能的な長寿命化の推進
3. 地域の活動拠点・防災拠点としての公共施設の再生
4. 財政負担の軽減に向けた取組の推進

《学校施設全般の長寿命化計画の基本方針》

1. 計画的な保全による長寿命化の推進

○中長期的な維持管理を継続するため、定期点検等の実施による観察保全を実施し、安全性の確保を図りながらライフサイクルコストの低減を図る。また、計画周期による大規模改造（予防保全的な改修）や長寿命化改修等を実施し、施設の長寿命化を推進する。

2. 安全・安心で質の高い教育環境の整備推進

○児童生徒にとって、安全・安心で、適切な学習環境となるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担うことから、防災機能も整備する。
○ICTの活用等の質の高い教育環境づくりを支援する施設の維持・整備を推進する。

3. 施設の効率的な活用の検討

○地域社会や防災・減災のまちづくりとの連携を図りながら、公共施設等総合管理計画にある総量抑制、効率的・効果的な管理運営の視点から、他施設との複合・集約化など、必要な機能を確保しつつ、効率的な整備・施設の活用を図る。

4. 地域の拠点化

○コミュニティ・スクールを軸に、児童生徒のみならず、地域住民に開かれた拠点となるよう必要な整備を行っていく。

② 学校施設の規模・配置計画等の方針

本市では「坂出市学校再編整備実施計画(平成20年度策定)」に基づき、地域性等を考慮しながら、学校の統廃合を進め、令和2(2020)年度時点で11小学校、5中学校となっています。

今後は、児童生徒数の動向を見据え、教育制度の改正及び保護者や地域住民の意見等を踏まえて、必要に応じて検討していきます。

4-3. 改修等の基本的な方針

① 長寿命化の方針

本市では、令和2（2020）年度現在、建築後30年を経過した施設が全体の床面積の約9割を占めるなど、施設の老朽化への対応が必須となっています。

このため、従来の建替えを中心とする老朽化対策では、すでに更新時期を迎えている施設を含め、今後、一斉に高まっていく施設の建替え需要により、財政に過大な負担が生じる恐れがあります。そのため、施設の長寿命化という考えを用い、効率的なメンテナンスサイクルの構築や予防保全的な改修の実施等により施設の長寿命化を推進することで、施設あたりのライフサイクルコストを縮減し、財政負担の軽減と平準化を図っていくことが必要となります。

このことから財政面を考慮しながら計画的かつ効率的な施設整備を進めていくとともに、児童生徒にとって安全・安心で快適な学校生活環境や学習環境が充実するよう整備を行ってまいります。

《長寿命化改修の方針》

- 長寿命化改修の実施にあたっては、施設活用寿命の延命を目的として、長寿命化、エコ改修、計画修繕を取組方針とし、必要な機能と性能の全体的な改善を行う。

1. 学校教育や地域連携からの要求に対応するための機能向上〈長寿命化改修〉

- 学校施設の目指すべき姿の実現とともに、学校教育や変化する学習環境、地域連携からの要求などに対応できるよう、機能向上を図る長寿命化改修を行う。

2. 地域気候特性や自然エネルギー活用に対応するための性能向上〈エコ改修〉

- 現時点において求められる断熱性能や自然エネルギー活用による性能向上を目的としたエコ改修を行う。

3. 計画修繕に基づく経年劣化の機能・性能回復〈計画修繕〉

- 長寿命化改修は建設当初の水準より性能や機能を向上させることを目的とするが、建物を長年にわたって良好に維持管理していくためには、経年の劣化に応じて適時適切な修繕を計画的に実施することが必要となる。このことから、適切な計画修繕のもと建物の維持管理に努め、長寿命化改修の機能向上項目と重複する際は、部位修繕との1本化を図るなど、効率的な修繕を行う。

(参考:国の補助事業-長寿命改良事業 趣旨)

構造体の劣化対策を要する建築後40年以上経過した建物について、長寿命化改良に要する経費の一部に国庫補助を使う。構造体の長寿命化やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的要請に応じた施設の長寿命化を図る。

② 目標使用年数、改修周期の設定

これまでは、著しい劣化や破損等が発生した場合に改修を行う事後保全的な改修をしていましたが、その方法では不具合が発生した部分だけの改修にとどまり、結果として施設全体の機能・性能劣化への対応が十分でなく、短期スパンで改築を行わなければならない状況でした。今後は、このような従来型の改築中心の施設整備から長寿命化を図る施設整備へと切り替えを行うこととし、目標とする使用年数、改修周期を設定します。

文部科学省の「学校長寿命化計画策定に係る手引き（H27.4月）」の中で、施設の耐用年数について、次のような記載があり、長寿命化の前提が示されています。

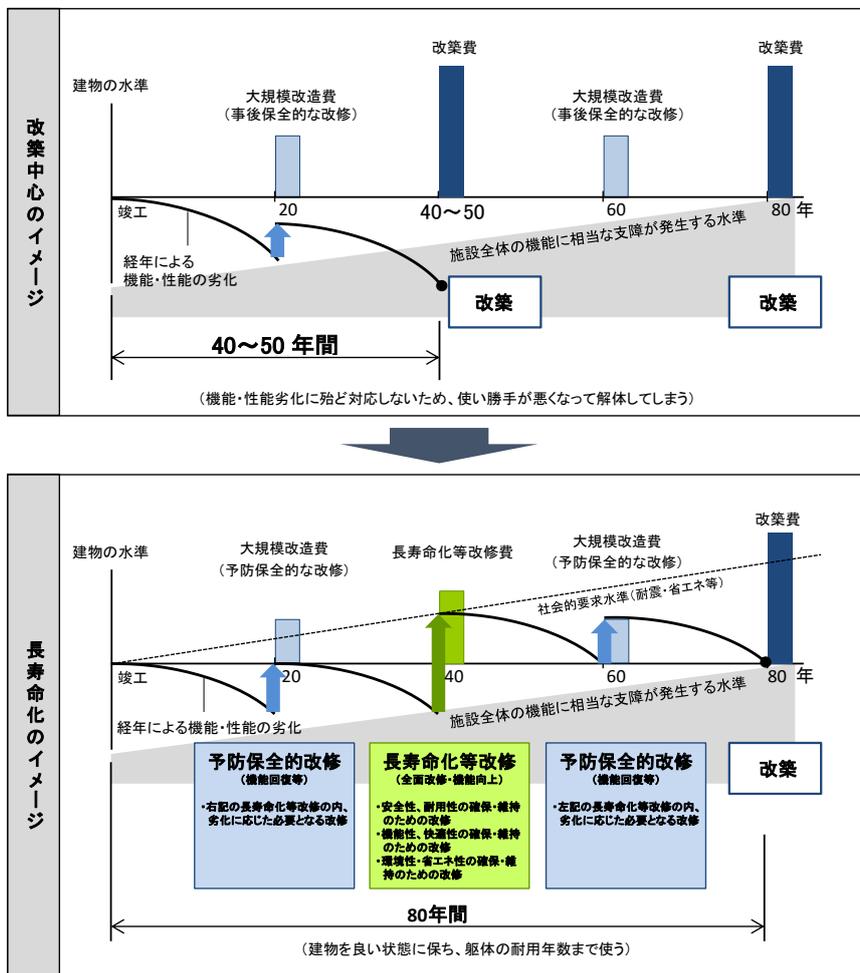
「鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっているが、これは税務上、減価償却を算定するためのものである。物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70年～80年程度持たせるような長寿命化が可能である。」

この内容を踏まえ、目標とする使用年数、改修周期は、建築後約20年で機能回復のための大規模改修を行い、耐用年数の中間期となる約40年で機能向上のための長寿命化改修、その後、約20年後に再び大規模改修等を行い、目標使用年数をこれまでの40～50年を80年に延命します。

[目標使用年数・改修周期]

	目標使用年数	大規模改修の周期	長寿命化改修の周期
長寿命化を図る施設	80年	築 20年 / 60年	築 40年

[建物の水準・費用・実施事業及びサイクルの比較]



5. 施設整備の水準等

5-1. 改修等の整備水準

改修の実施にあたっては、単に建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など社会的な要請に応じるための改修に努めます。

改修の整備内容は、対象とする施設や実施時期に応じた大規模改造、または、長寿命化改修等を実施します。長寿命化改修の場合、その前後 20 年に大規模改修を実施することを基本的な改修周期として、予防保全による施設整備を行い、築 80 年まで利用する長寿命化を図ります。

[標準的な整備水準及び改修サイクル]

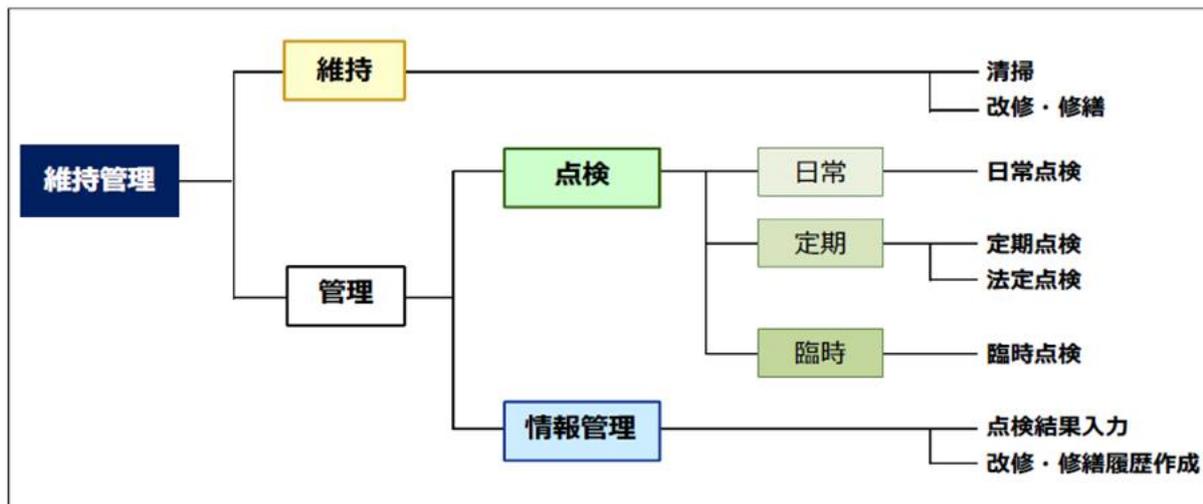
対象 部位	項目	標準的な整備水準	築 20 年	築 40 年	築 60 年
			大規模改造	長寿命化 改修	大規模改造
外部 仕上げ等	屋上	断熱性及び耐久性に優れた材料等への取替		○	
		劣化の著しい部位の改修	○		○
	外壁	断熱性及び耐久性に優れた材料等への取替(とい、軒天含む)		○	
		塗替(とい、軒天含む)	○		○
建具・金物等	鉄部の取替		○		
内部 仕上げ等	内装	全面撤去更新		○	
		塗替	○		○
	廊下・出入口	バリアフリー化		○	
	便所	便所内装の全面撤去更新		○	
便所内装の塗替		○		○	
設備等	受変電設備	キュービクルの更新	○	○	○
	消防設備	設備の更新	○	○	○
	給水設備	設備の更新	○	○	○
	空調設備	設備の導入・更新	○	○	○
	照明設備	設備の更新	○	○	○

出典:「建築物のライフサイクルコスト(一般財団法人建築保全センター)」等を基に独自設定

5-2. 維持管理の項目・手法等

学校施設の長寿命化を図るためには、定期的に改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検や情報管理を行い、劣化状況の早期発見と計画への反映を行う必要があります。

[維持管理項目]



[維持管理の実施時期・目的・内容等]

担当	項目	実施時期・目的・内容等	
市 (教育 委員会)	点検	定期・日常 点検	修繕要望調査や学校からの報告に基づき、施設の劣化状況などを把握する。
		法定点検	定められた期間ごとに実施する。
		臨時点検	故障情報、気象情報などにより、学校に注意を促すとともに必要に応じて状況把握をする。
	維持	改修・修繕	点検結果に基づき、建物及び設備の改修・修繕を行う。
	情報管理	点検、改修・修繕などの履歴を管理し、現状把握をするとともに、計画に反映する。	
学校	点検	日常点検	早期に異常を発見するために実施する。
		定期点検	月 1 回の安全点検により、建物及び設備の異常の有無、兆候を発見する。
		臨時点検	災害発生後などに被害状況の把握と初期対応を行う。
	維持	清掃	各点検等に併せて清掃を行う。

6. 長寿命化の実施計画

6-1. 計画策定の基本条件及び実施計画

① 計画策定の基本条件

施設の長寿命化改修等は、改修周期に基づき実施していくことが基本となりますが、本市の対象施設では、築40年以上経過した施設が床面積で全体の約6割、また、築30年以上では約9割となっており、改修周期を超過している施設も少なくありません。

このため、改修周期通りにすべての施設で改修等を実施しようとする場合、本計画期間の当初に、改修等が集中し、単年度の施設整備費用が膨らみ、財政面から実施が困難となることが想定されます。

こうしたことから、築年数や劣化状況等を勘案した改修等の優先性を念頭に置きつつ、単年度ごとの総事業費の変動を低く抑える平準化を行った実施計画を策定します。

なお、改修等を実施する施設の事業年等は、将来の学校施設のあり方や学校運営上、柔軟に対応することとします。以下に、計画策定の基本条件を示します。

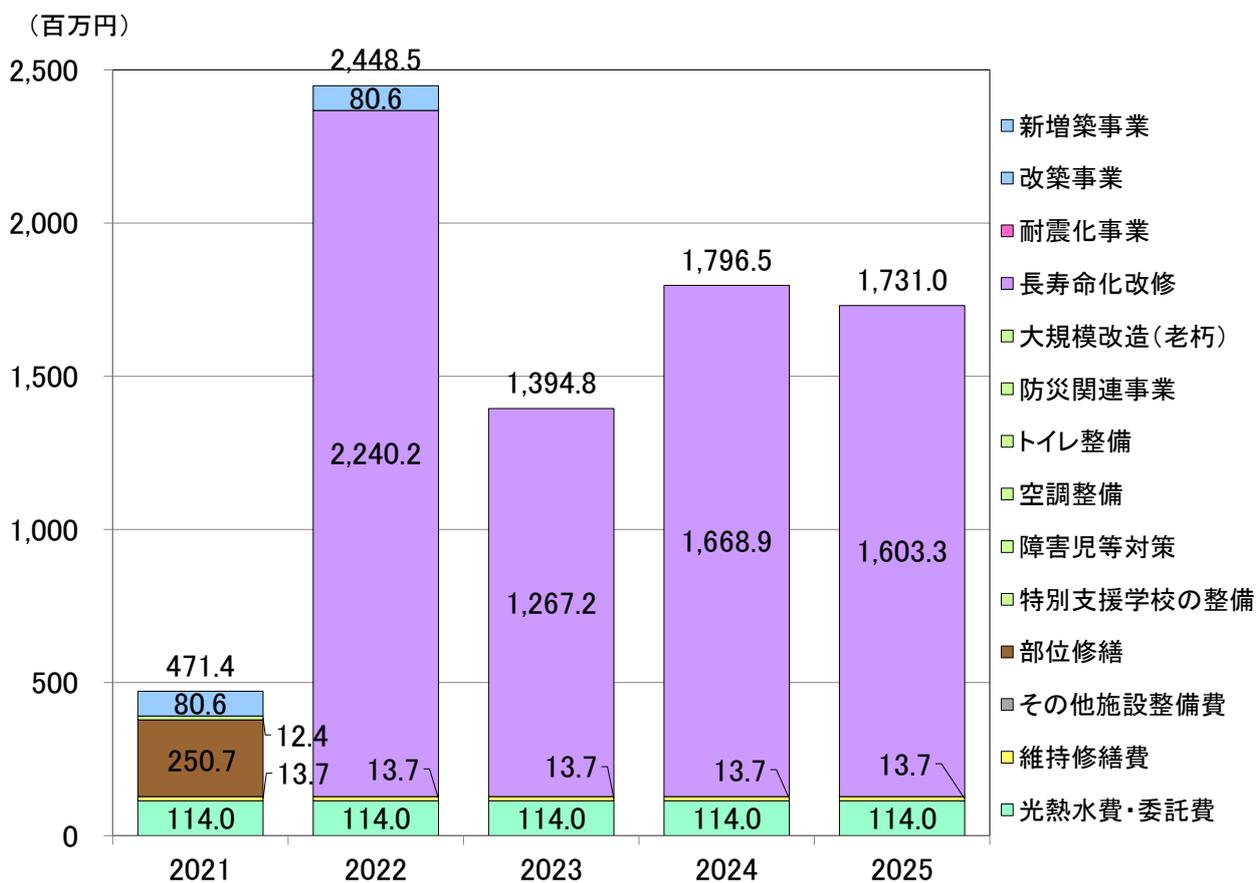
[計画策定の基本条件]

区分	基本条件
改築	長寿命化改修するものは、築80年を基本に改築する。
長寿命化改修	築40年を基本に改修する。長寿命化改修後は30年間の使用を計画する。
	令和2年を基準に築40年以上のものは、基本的に築50年以内に改修する。 ※事業費の平準化のため、一部築50年を超える建物がある。
	築50年を超えて長寿命化改修をする建物も、長寿命化改修後30年の使用を計画する。よって改築が築80年を超える建物がある。
大規模改造	築20年、築60年を基本に改修する。
部位修繕	劣化状況評価「D」の修繕を直近5年以内で行う。ただし、直近5年以内で大規模改造・長寿命化改修を行う場合は、単独での部位修繕は行わない。
	劣化状況評価「C」の修繕を劣化状況評価「D」修繕完了後に行う。ただし、部位修繕以前に大規模改造・長寿命化改修を行う場合は、単独での部位修繕は行わない。

② 短期（直近5年）事業計画

各施設の建設年に基づく各種（長寿命化改良・大規模修繕・部位修繕）整備時期、改修履歴に基づく管理期間を配慮し、今後5年間における事業実施時期の整理を行いました。

[今後5年間の整備事業費]



短期（直近5年）令和3（2021）年度～令和7（2025）年度での事業費

(百万円)

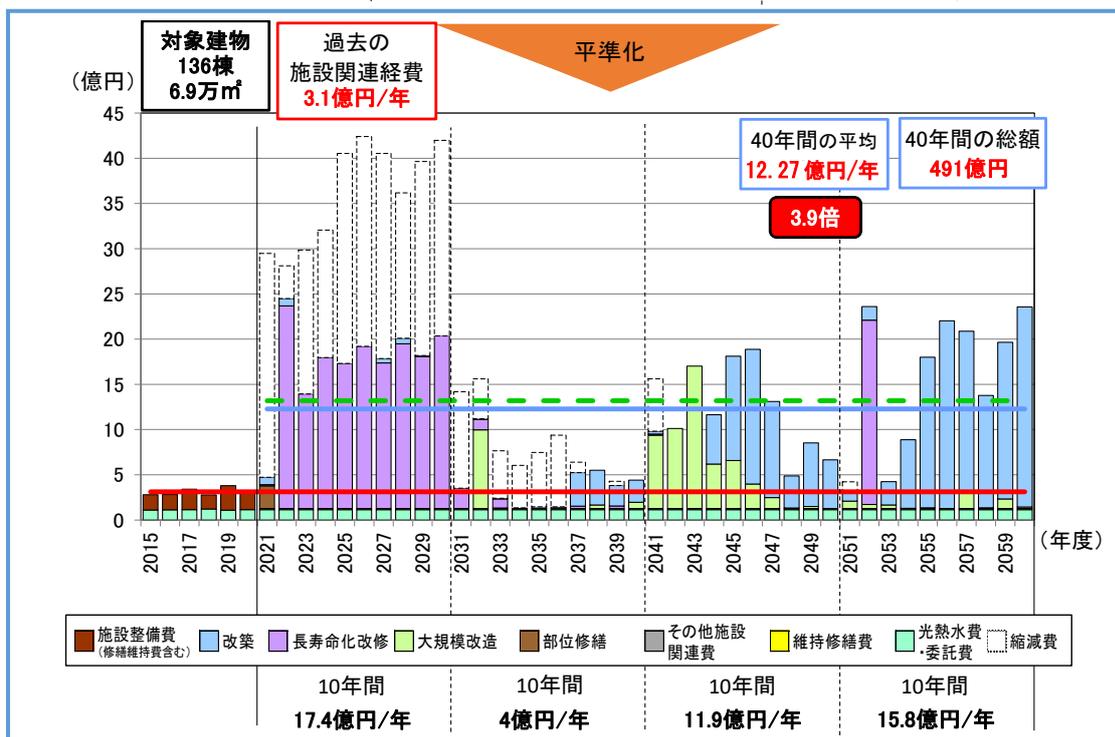
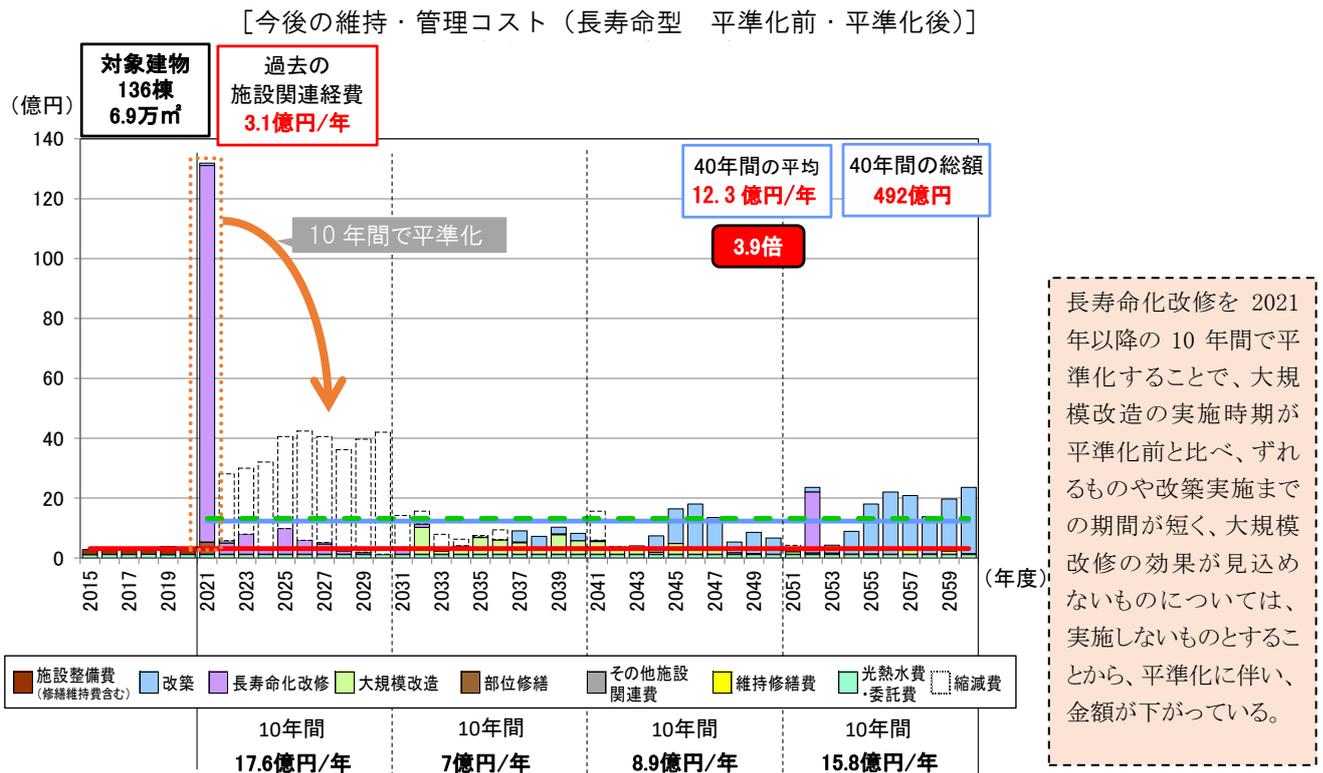
西暦		2021	2022	2023	2024	2025
施設整備費	改築	80.6	80.6	0	0	0
	長寿命化改修	0.0	2,240.2	1,267.2	1,668.9	1,603.3
	大規模改造	12.4	0	0	0	0
	部位修繕	250.7	0	0	0	0
施設整備費		343.8	2,320.8	1,267.2	1,668.9	1,603.3
その他施設関連経費		0	0	0	0	0
維持修繕費		13.7	13.7	13.7	13.7	13.7
光熱水費・委託費		114.0	114.0	114.0	114.0	114.0
合計		471.4	2,448.5	1,394.8	1,796.5	1,731.0

6-2. 長寿命化のコストの見直し・課題

① 長寿命化のコストの見直し

各施設の長寿命化による平準化後の施設関連経費は、過去平均経費 3.1 億円／年の約 3.9 倍である 12.27 億円／年となり、従来型の維持・更新コストの 13.2 億円／年より 1 割程度の減少が見込まれます。

一方で、築後 30 年以上の建物が全体の床面積の約 9 割を占めることから、計画の初期段階に長寿命化改修が集中し、事業費が膨らみます。こうしたことから、年度当たりの総事業費の平準化を図りつつ、財政負担の軽減を図ることとします。



② 長期コスト見直しにおける課題

年度別の事業費の平準化により、年度間での変動幅は低くなるものの、最初の 10 年間での年間平均の維持・更新コストが 17.4 億円となり、本市の財政状況からは依然として重い負担となっています。また、本計画の後半の令和 23（2041）年代以降には、現在の長寿命化対象施設の多くが改築の時期を迎え、事業費が膨らむことが想定されます。

しかしながら、安全・安心で質の高い教育環境を維持・管理していくために必要となる長寿命化改修等を設定周期である建設後 40 年程度で実施をしておかないと、大規模修繕と連動した改修による耐用年数を 80 年とした運用ができなくなるため、今後 10～15 年間での施設整備費を確保しておく必要があります。

そのため、市の財政状況を鑑み、本市全体の公共施設の総合管理と調整を図りながら、必要な財源確保に取り組んでいくことが必要となります。

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

7-1. 情報基盤の整備と活用

① 施設管理情報データベースの構築・一元化

○公共施設の施設基本情報や光熱水費、改修工事履歴情報、劣化診断調査による劣化状況などを統一フォーマットで整理し、これまでの「事後保全」型の管理から「予防保全」型の管理に向けて施設関連情報を一元管理します。

7-2. 推進体制等の整備

① 全庁的な推進体制の構築

○学校施設の整備・管理は、所管する教育委員会が主な窓口となり、施設管理者（学校）、行財政、建築営繕、地域振興を所管する担当課と連携を図りながら、学校施設のマネジメントを推進する体制の構築を図ります。

② 施設管理者等との連携

○日常目視や軽微な点検等は、地域や施設管理者等と連携を図りながら実施し、施設の変化をいち早く収集・対応できる体制構築を図ります。また、軽微な機能回復や復旧等は、地域の学校を支援するボランティア等と連携を図るなど、柔軟な対応が可能な管理体制の検討を行います。

7-3. フォローアップ

① 事業進捗等による定期的な計画の見直し

○本計画は、学校施設の改修等の優先順位を設定するものであり、実施にあたっては改築等の庁内合意を得るなかで、実施計画等での予算措置を行い、事業実施を行っていくものです。

また、児童生徒数の推移や学校施設基準の変更等、学校施設整備には様ざまな要因が影響を及ぼします。こうしたことから、事業の進捗状況や点検結果などを反映して計画をフォローアップし、必要に応じ再編整備を含めた計画の見直しを図ります。

参考資料

国庫補助制度等

(1) 公立学校施設整備事業の概要

① 趣旨

学校教育の機会均等の確保と水準の維持向上を図るため、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」（施設費負担法）等に基づき、公立学校建物（公立小中学校、特別支援学校、幼稚園の校舎・体育館等）の施設整備に要する経費の一部を国庫補助することにより学校教育の円滑な実施を担保します。

② 主な国庫補助事業・負担（算定）割合

事業名	負担（算定）割合	事業の内容
新增築	1/2	学校建物(校舎、体育館等)を新しく建設又は増築(教室不足の解消、学校統合)
改築	1/3	構造上危険な状態にある建物、耐震力不足の建物、津波浸水想定区域内の移転又は高層化を要する建物等
	1/2(嵩上げ)	ls 値(※)が 0.3 未満の建物のうち、やむを得ない理由により補強が困難なもの
	1/2	南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における集団移転促進事業に関連する学校建物の高台移転改築
地震補強	1/2(嵩上げ)	地震による倒壊の危険性があるもの(ls 値 0.3～0.7 未満)
	2/3(嵩上げ)	地震による倒壊の危険性が高いもの(ls 値 0.3 未満)
大規模改造等	1/3 (統合改修 1/2)	エコ改修や老朽化に伴う補修など、既存の学校建物を建て替えずに改修(老朽改修、統合改修、トイレ改修、空調設置、障害児対策等)
長寿命化改良	1/3	構造体の劣化対策を要する建築後 40 年以上の建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じる改修
防災機能強化	1/3	避難所として必要な、学校施設の防災機能強化(非構造部材の耐震化、避難経路、備蓄倉庫の整備、避難所指定校への自家発電設備の整備、等)
武道場	1/3	中学校に柔道場、剣道場等を整備
太陽光発電等設置	1/2	太陽光発電等の再生可能エネルギーの整備(太陽光パネルの設置、太陽熱利用、風力発電の整備、太陽光パネル既設置校への蓄電池の整備)
その他	1/3	屋外環境(グラウンド)、木の教育環境、学校プール、社会体育施設、学校給食施設、高校の産業教育施設等の整備、特別支援学校の用に供する既存施設の改修

※ls値(構造耐震指標): 建物の耐震性能を表す指標。ls 値が大きいほど耐震性が高い。
 ls 値 0.3 未満 大規模な地震(震度6強以上)に対して倒壊または崩壊の危険性が高い。
 ls 値 0.3～0.6 未満 大規模な地震に対して倒壊または崩壊の危険性がある。
 ls 値 0.6 以上 大規模な地震に対して倒壊または崩壊の危険性が低い。
 新增築 : 公立学校施設整備費負担金
 新增築以外 : 学校施設環境改善交付金

(2) 長寿命化改良事業及び大規模改造（老朽）事業について

	長寿命化改良事業	大規模改造(老朽)事業
概要	従来、改築(建て替え)していた老朽施設の再生を図るため、構造体の長寿命化やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネ化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など現代の社会的要請に応じた改修を支援	経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や、教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る改修を支援
対象校	幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校	
対象建物	校舎、屋内運動場、寄宿舎	
算定割合	1/3 ※併せて改築と同様の地方財政措置により、地方自治体の実質的な負担割合は26.7%	1/3 (財政力指数が1.0を超える設置者にあつては2/7)
補助要件	構造体の劣化対策を要する建築後40年以上経過した建物 下限額:7,000万円 (小規模校1,000万円、幼稚園400万円)	建築後20年以上の建物の外部及び内部の両方を同時に全面的※に改造する工事 ※建物全体の延べ床面積の約70%以上 上限額:2億円 (過去急増市町村にあつては3億円) 下限額:7,000万円 (小規模校1,000万円、幼稚園400万円)
築年数	40年以上	20年以上
使用予定年数	30年以上	30年未満でも可
改修範囲	原則建物一棟全体	内部・外部のいずれかの施工割合が70%以上、もう一方が50%以上
構造体の長寿命化	必ず実施	実施しなくてもよい
ライフラインの更新	必ず実施	実施しなくてもよい
その他長寿命化に必要な工事	原則実施	実施しなくてもよい

※耐震性のない建物を長寿命化改修する場合は、耐震性を確保すること。

2-5 長寿命化改良事業

—〈交付要綱・別表1〉長寿命化改良工事

1 趣旨

構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的要請に応じた施設の長寿命化を図る。また、将来的に長寿命化を図る建物について、健全な状態に保つための予防的な改修工事を適切なタイミングで実施し、致命的な損傷の発現を事前に防ぐことで、効率的・効果的に施設の長寿命化を図る。

※沖縄においては、「沖縄振興公共投資交付金」の交付対象になっている。

2 交付金の算定割合

1/3

3 対象校

小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校及び幼稚園（幼稚園から移行した幼保連携型認定こども園を含む。以下同じ。）

4 交付対象事業

- (1) 建物の長寿命化改良を図る事業（以下「長寿命化事業」という。）
- (2) 建物の長寿命化を図るための予防的な改修事業（以下「予防改修事業」という。）

5 長寿命化改良事業の対象となる建物

(1) 長寿命化事業

次の条件を全て満たす建物を事業の対象とする。^(※1)

ア 建築後40年以上経過したもの

イ 今後30年以上使用する予定のもの

ウ 構造体の劣化状況等について調査^(※2)を行い、その結果、「6 工事内容」に示す工事を要すると学校設置者が判断するもの。また、コンクリート強度や不同沈下量、校地環境の安全性等の観点から、長期的に使うことが適切と学校設置者が判断するもの

(※1) ただし、平成27年度までに耐力度調査を実施した危険建物は本事業の対象とする。

(※2) 劣化状況等の調査は、耐力度調査の方法を参考に実施すること。なお、耐震診断の際に実施した劣化状況に関する調査結果がある場合には、その調査結果を用いても良い。ただし、耐震診断を実施した時点から著しく建物の劣化が進行している場合はこの限りではない。

(2) 予防改修事業

次の条件を全て満たす建物を事業の対象とする。^(※3)

ア 建築後20年以上40年未満であるもの^(※4)又は長寿命化改良後20年以上経過したもの

第1章 概要編

イ 個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）に基づくもの

(※3) 原則として、直近20年間に予防改修事業を実施している場合は対象外とする。

(※4) ただし、将来の長寿命化事業の実施を見越したうえで、建物の劣化状況等に応じ、建築後40年以上経過した建物の予防改修事業を実施する場合は、文部科学省へ事前相談すること。

6 工事内容

(1) 長寿命化事業

原則として建物一棟全体（内部・外部共）を長寿命化改良する全面的な改修工事を対象とする。

[必ず実施する工事]

構造区分に応じた以下の工事及び水道、電気、ガス管等のライフラインの更新は必ず実施するものとする。ただし、ライフラインの更新については、既に更新済みの場合や、将来、計画的に更新することが決まっている場合は実施を要しない。

- ・鉄筋コンクリート造及びコンクリートブロック造の場合、少なくとも、以下のa～cのうちいずれか1つ以上の工事
 - a コンクリートの中性化対策
 - b 鉄筋の腐食対策
 - c 鉄筋のかぶり厚さの確保
- ・鉄骨造の場合、少なくとも、以下のa、bのうちいずれかの工事
 - a 鉄骨の腐食対策
 - b 接合部の破損の補修
- ・木造の場合、構造体の腐朽対策（土台、柱、梁等）

[原則として実施する工事]

工事を要しない特別な理由がない限り、原則として以下の工事を実施するものとする。

- ・耐久性に優れた材料等への取り替え（劣化に強い塗装・防水材等の使用）
- ・維持管理や設備更新の容易性の確保
- ・少人数指導など多様な学習内容・学習形態による活動が可能となる環境の提供
- ・断熱、二重サッシ、日射遮蔽等の省エネルギー対策

(2) 予防改修事業

建物の長寿命化を図るための予防的な外部改修工事及びその他長寿命化に資する工事を対象とする。

[必ず実施する工事]

建物の構造区分に応じて以下の工事は必ず実施するものとする。ただし、既に更新済みの場合や、将来計画的に更新することが決まっている場合は実施を要しない。

- ・屋上の防水層の全面的な改修
- ・躯体の長寿命化を目的とした外壁改修

[その他長寿命化に資する工事]

第1節 国庫補助対象事業の概要

- ・ 躯体のひび割れ、脆弱部分の補修
- ・ 外壁の目地部分や建具周りのシーリング材の更新
- ・ 外部建具の更新
- ・ その他付帯設備の更新・改修（水道、電気、ガス管等のライフラインの更新）等

7 交付金算定対象の範囲（施設整備計画における工事費とする。）

(1) 長寿命化事業

1校当たり7,000万円以上の事業を対象とする（小規模校（建物区分ごとに面積が800㎡以下）1,000万円、幼稚園400万円）。

(2) 予防改修事業

1校当たり3,000万円以上の事業を対象とし、1億円を限度とする（下限額については小規模校1,000万円、幼稚園400万円）。

(1)(2)について、2箇年以上の工事においては、施設整備計画に計上している工事全体の実工事費に対して学校単位で適用する。

8 留意事項

- ・ 長寿命化事業の実施に当たっては、別途、所定の様式により事業計画書を文部科学省へ提出し、工事内容や長期修繕計画を示すこと。
- ・ 教育施設以外の建物（面積）については対象外とする。実工事費の算定については、当該対象面積等により按分するなどにより、算出する。
- ・ 保有面積が必要面積を超えている学校や、給食室、武道場等の保有控除建物（運用細目第2-7(6)のアからケに示す建物をいう。）も補助の対象とする（ただし、給食室は校舎と同一棟の場合のみとする。）。
- ・ 5(1)の条件を満たす対象建物と同時併行で、5(1)のア及びウの条件を満たさない建物について教育機能の向上及び教育条件の改善を図るために長寿命化改良工事を実施する場合、工事実施面積のうち、5(1)の条件を満たす対象建物の面積が50%以上を満たせば、工事実施面積全体を長寿命化事業の対象とすることができる。
- ・ 耐震補強事業と同時併行で実施する場合においては、併せた工事費が下限額を上回る場合に対象とする。
- ・ 面積の増減を伴う場合は、原則として増減部分是对象外である。ただし、長寿命化事業実施に伴い生じる必要最小限の面積の増減（減築を含む。）については、補助対象とする。その場合は、原則、文部科学省へ事前相談するとともに、長寿命化事業の事業計画書に記載すること。なお、減築する面積は長寿命化事業の実施面積には含めず、解体撤去費を追加で計上する。

上記の『必要最小限の面積の増減』については、以下のとおりとする。

- a. 減築については、今後の児童生徒数の推移を見通した上で学校設置者が必要と判断

第1章 概要編

した減築であれば、補助対象とする。

b. 増築については、「2-6 大規模改造」の「5 留意事項〔主な事例〕」に示す増築と同様の必要最小限のものに限ることとする。

- ・耐震性のない建物を長寿命化改良する場合は、原則として耐震性の確保も合わせて図ることとする。
- ・長寿命化事業の実施に伴い必要となるリース契約の仮設建物工事（長寿命化工事を実施する棟面積を限度とする。）も対象とする。ただし、耐震補強事業と同時併行で実施する際に必要となる場合はそれぞれの補助対象面積で按分する。

※第4章第4節のQ & Aも参照のこと。

坂出市学校施設長寿命化計画

策 定：2021年3月

編 集：坂出市 教育委員会事務局 教育総務課

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号

TEL: 0877-44-5026

FAX: 0877-44-4566



いしよ
古のロマンのまち
さかいで